

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 科目 年間授業計画

教科：国語科 科目 現代の国語 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社『標準 現代の国語』）

使用教材：（ネクスト常用漢字、ビジュアルカラー国語便覧、準拠ワーク）

教科の目標：作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見を持ち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】（ 読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。 ）
- 【思考力・判断力・表現力等】（ 本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。 ）
- 【主体的に学習に取り組む態度】（ 進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。 ）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期	単元名…「自分のことを知ってもらう」 【知識】:表記・表現の基本ルールを理解している。 【思考】:相手に伝わるように表現を工夫している。 【態度】:進んで活動に参加している。	教材:「スピーチで自分を伝える」「書き方の基礎レッスン」等 ・原稿用紙の使い方を理解する。 ・相手に伝わる話し方を理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「世界を広げる」 【知識】:接続詞の用法について理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「なぜ本を読むのか」等 ・筆者の主張を捉え、自分に照らし合わせて考えを深める。 ・言い換え表現についての理解を深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「人間と文化」 【知識】:・対比表現について理解している。 【思考】:文章を読んで自分の考えを深めている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「水の東西」等 ・東西の対比関係を読み、二項対立についての理解を深める。 ・文章を参考に、二項対立の用法を理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		2
	単元名…「言葉が開く世界」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:擬音語などの表現技法を理解している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「言語としてのピクトグラム」等 ・「言語」の機能を知り、言語表現の多様性について考えを深める。 ・視覚的な情報を活かし、文章を理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
2 学期	単元名…「世界を広げる」 【知識】:筆者の主張と例示について理解している。 【思考】:段落相互の役割や関係について理解している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「世界は謎に満ちている」等 ・主張と例示の関係について考えを深める。 ・段落相互の関係を把握することで、文章の構成を理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「書いて伝える」 【知識】:情報を的確に説明する方法を理解している。 【思考】:必要な情報を収集し、相手に伝わる方法を理解している。 【態度】:進んで文章を書こうとしている。	教材:「地域の魅力を紹介する」等 ・相手に伝わるために、必要な情報を収集・整理し、活用する方法を理解する。 ・わかりやすく説明する方法を理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「社会と人間」 【知識】:小説の手法を理解している。 【思考】:本文を根拠として解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「『弱いロボット』の誕生」・人はなぜ仕事をするのか等 ・実社会と日常生活を結び付け、自身の考えを深める。 ・文と文、相互の関係を理解し、文章を読解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	定期考査			○	○		2
	単元名…「現代と社会」 【知識】:文章読み、筆者の思いを理解できる 【思考】:筆者の考えと一般論を分けて考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「黄色い花束」等 ・筆者の考えと一般論をわけて考える。 ・文章に込められている筆者の思いを捉える。 ・過去と現在を読み分ける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
3 学期	単元名…「話して伝える」 【知識】:相手に伝わるように話し方を工夫している。 【思考】:相手の反論を想定して自分の展開している。 【態度】:進んで話し合いを進めようとしている。	教材:「合意形成のための話し合いを行う。」 ・相手の反論を想定して自分の論を展開する。 ・他者の意見を聞き、自身の考えを深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 科目 年間授業計画

教科：国語 科目 言語文化 単位数： 2単位

対象学年組： 第 1 学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(数研出版 『新編 言語文化』)

使用教材：(大修館書店 『ビジュアルカラー国語便覧』 数研出版『新編 言語文化 準拠ワーク』)

教科の目標： 作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見を持ち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】
- (生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。)
- 【思考力・判断力・表現力等】
- (生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。)
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- (言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名：古文の世界を楽しむ 【知識】：歴史的仮名遣いを理解している。 【思考】：登場人物の状況を把握している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材「いろは歌」 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」「検非違使忠明」 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・平安時代の文化を理解する。 ・文章内の登場人物の状況を理解し、その心情を味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	7
	単元名：昔と変わらない人の心 【知識】：歴史的仮名遣いを理解している。四段活用 of 動詞を理解している。 【思考】：登場人物の状況を把握している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材『伊勢物語』『芥川』 ・歴史的仮名遣いを理解する。四段活用 of 動詞を理解する。 ・平安時代の文化を理解する。 ・文章内の登場人物の心情変化を把握する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名：日本語の中に生きる漢文 【知識】：訓読のきまりや漢語の基本構造を理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材「訓読のきまり」「格言」 ・漢文に親しみ、漢文を学ぶ意義を理解する。 ・訓読のきまりや漢語の基本構造を理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	7
	定期考査			○	○		2
	単元名：受け継がれる古典 【知識】：語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材『羅生門』 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。 ・『宇治拾遺物語』『今昔物語』との比較を通して、作品の特徴について考察する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
2 学 期	単元名：漢詩を味わう 【知識】：訓読のきまりや漢語の基本構造を理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材「春暎」「涼州詞」「春望」 ・漢文に親しみ、漢文を学ぶ意義を理解するとともに、訓読のきまりや漢語の基本構造を理解する。 ・漢詩を音読し、漢詩の世界を味わうことで、漢文に親しむ。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	9
	単元名：論語のこぼれ 【知識】：漢文の基本構造を理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材「論語」 ・孔子の学問・人間・政治の在り方についての考え方を知る。 ・孔子の思想を通して、ものの見方や考え方を広げる。 ・論語と現代社会との接点について知り、古典作品と現代とのつながりについて考える。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	9
	定期考査			○	○		2
	単元名：文体の魅力 【知識】：寓意について理解している。 【思考】：批判的に読む力を身につけている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材「名人伝」 ・文体と作品世界を味わいながら、寓意を読みとるとともに、批判的に読む力を身につける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
3 学 期	単元名：先人を思う旅 【知識】：古典に親しむために、作品の歴史的・文化的背景や古典特有の表現などについて理解している。 【思考】：俳句を通して、我が国の言語文化について考えを深めようとしている。 【態度】：我が国の伝統文化の一つである「俳句」の表現技法について、関心を持っている。	教材「おくのほそ道」 ・四段活用以外の動詞や形容詞・形容動詞を理解する。 ・江戸元禄期の文化を理解する。 ・我が国の言語表現の発展の一端を、俳諧を通して理解する。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 国語 科目 文学国語 年間授業計画

教科：国語科 科目 文学国語 単位数： 2単位

対象学年組：第2学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(大修館書店 『文学国語』)

使用教材：(ネクスト常用漢字、ビジュアルカラー国語便覧、準拠ワーク)

教科の目標：作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見をもち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】(読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。)
- 【思考力・判断力・表現力等】(本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。)
- 【主体的に学習に取り組む態度】(進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期	単元名…「現代への視点」 【知識】：小説の手法を理解している。 【思考】：本文を根拠として解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「旅する本」等 ・登場人物の言動から読み取れる心情について理解する。 ・物語展開や場面構成について学び、繰り返しと変化に着目して小説読解の方法を身につける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「想像と共感」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:筆者の豊かな感受性について理解している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「十八歳の選択」等 筆者の心情をやメッセージを的確にとらえる。 比喩表現に注目して読み、表現を味わう。 自身の人生における「選択」について考える。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「韻文の世界」 【知識】:・視覚的・聴覚的な工夫について理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「永訣の朝」等 ・リズムを味わい、作者の工夫について考察することで、豊かな表現力を磨く。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	2
	定期考査			○	○		2
2 学期	単元名…「語りの世界」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「山月記」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「想像を広げる」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「山椒魚」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「視点を広げる」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「私の日本住居論」等 ・幅広い視点からの文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「視点を広げる」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「月の誤訳」等 ・翻訳の視点から我が国の言語文化の特質について理解を深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
3 学期	単元名…「記憶の継承」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「ころも」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「記憶の継承」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「ころも」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 国語 科目 文学国語 年間授業計画

教科：国語科 科目 文学国語 単位数： 2単位

対象学年組：第3学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：(大修館書店 『文学国語』)

使用教材：(パーフェクト常用漢字、ビジュアルカラー国語便覧、準拠ワーク)

教科の目標：作品を特徴づける「言葉」を根拠として作品を読み取り、読み取った内容に関して自分の意見をもち、適切に表現する能力を身につけさせる。

- 【知識及び技能等】
- (読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。)
- 【思考力・判断力・表現力等】
- (本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。)
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- (進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。)

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
読解に必要な語句の意味や表現技巧等を理解している。	本文を根拠として考え、自分の意見をもった上で、適切に表現している。	進んで本文を読み、課題に取り組もうとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期	単元名…「日常への視点」 【知識】:小説の手法を理解している。 【思考】:作者の豊かな感受性について理解している。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「桔梗くんへ」等 筆者の心情をやメッセージを的確にとらえる。 物語の構成に注目して読み、表現を味わう。 手紙(書簡)という形式について考える。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「寓意の世界」 【知識】：小説の手法を理解している。 【思考】:寓意に対する解釈ができている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「赤い繭」等 ・登場人物の言動から読み取れる心情について理解する。 ・物語展開や比喩表現に注目して読み、小説読解の方法を身につける。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	10
	単元名…「韻文の世界」 【知識】:・視覚的・聴覚的な工夫について理解している。 【思考】：背景や表現の効果について考えている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「短歌」「俳句」等 ・リズムを味わい、作者の工夫について考察することで、豊かな表現力を磨く。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	2
	定期考査			○	○		2
	単元名…「視点を広げる」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「月の誤訳」等 ・翻訳の視点から我が国の言語文化の特質について理解を深める。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
2 学期	単元名…「想像を広げる」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「山椒魚」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	単元名…「記憶の継承」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「ころこ」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	8
	単元名…「記憶の継承」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】:本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「ころこ」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
	単元名…「伊豆の踊り子」 【知識】:語句の意味を理解している。 【思考】：本文を根拠に解釈できている。 【態度】：進んで本文を読もうとしている。	教材:「伊豆の踊り子」等 ・近代小説の名作に親しみ、場面効果や登場人物の心情の変化等について表現に即して読み味わう。	【知識】：ワークシート・定期考査 【思考】：ノート記述・定期考査 【態度】：ワークシート	○	○	○	6
3 学期							
	定期考査			○	○		1

東京都立橘高等学校令和6年度 地理歴史科 歴史総合 年間授業計画

教科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組）

教科担当者：

使用教科書：（『歴史総合』実教出版）

使用教材：（）

教科の目標： 世界と日本の歴史を比較し、関連付けながら、複数の視点をもって近現代史を学習する。

【知識及び技能等】（近現代史における基礎的な用語とともに日本と世界とのつながりを理解している）

【思考力・判断力・表現力等】（日本史と世界史を比較、相互に関連付けながら近現代の日本と世界の関係性について考察し表現している）

【主体的に学習に取り組む態度】（近現代における、日本と世界の動向に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している）

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
近現代史における基礎的な用語とともに日本と世界とのつながりを理解することができる。	日本史と世界史を比較、相互に関連付けながら近現代の日本と世界の関係性について考察し、表現することができる。	近現代における、日本と世界の動向に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期	単元名・・・近代化への胎動 【知識】：近代の胎動に関する基本的事項を理解できる 【思考】：近代化への胎動に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「歴史を学ぶための基礎知識」 「江戸時代の日本と東アジア秩序の変動」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	6
	単元名・・・欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 【知識】：欧米の市民革命と「西洋の衝撃」に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：欧米の市民革命と「西洋の衝撃」に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「イギリス産業革命とアメリカ独立戦争」 「フランス革命とウィーン体制」 「アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立」 「オスマン帝国の衰退とロシア」 「アヘン戦争の衝撃と開国」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	10
	単元名・・・欧米諸国と日本の国民国家形成 【知識】：欧米諸国と日本の国民国家形成に関する基本的事項を理解できる 【思考】：欧米諸国と日本の国民国家形成に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一」 「明治政府の諸改革」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
	単元名・・・帝国主義の時代 【知識】：帝国主義の時代に関する基本的事項を理解できる 【思考】：帝国主義の時代に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争と日露戦争」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	7
2 学期	単元名・・・第一次世界大戦と大衆社会 【知識】：第一次世界大戦と大衆社会に関する基本的な事項を理解できる 【思考】：第一次世界大戦と大衆社会に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「第一次世界大戦」 「ヴェルサイユ体制とワシントン体制」 「第一次世界大戦後の欧米諸国」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	10
	単元名・・・経済危機と第二次世界大戦 【知識】：経済危機と第二次世界大戦に関する基本的事項を理解できる 【思考】：経済危機と第二次世界大戦に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「ファシズムの時代」 「満州事変と軍部の台頭」 「第二次世界大戦」 「国際連合の成立と冷戦」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	10
	単元名・・・冷戦と脱植民地化 【知識】：冷戦と脱植民地化に関する基本的事項を理解できる 【思考】：冷戦と脱植民地化に関する資料から有用な情報を選択して活用し自分の考えとしてまとめている 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「植民地の独立」 「米ソ両陣営の動揺」 「日本の国際社会復帰と高度経済成長」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	3
	定期考査			○	○		
	単元名・・・多極化する世界 【知識】：多極化する世界に関する基本的事項を理解できる 【思考】：多極化する世界に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分に考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「石油危機と世界経済」 「緊張緩和から冷戦の終結へ」 「日本の経済大国化」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	9
3 学期	単元名・・・グローバル化と現代世界 【知識】：グローバル化と現代世界に関する基本的事項を理解できる 【思考】：グローバル化と現代世界に関する資料から有用な情報を選択して活用し自分の考えとしてまとめることができる 【態度】：積極的に授業に参加し、歴史的事象について自分の考えを持つとしている	「地域紛争と対立」 「国際秩序の変容」	【知識】: 定期考査 【思考】: ワークシートの記述 【態度】: 提出物	○	○	○	5
	定期考査			○	○		

東京都立橋高等学校令和6年度 地理歴史科 地理総合 年間授業計画

教科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（『地理総合』東京書籍）

使用教材：（『新高等地図』東京書籍 『地理総合ワークシート』東京書籍）

教科の目標：地球が抱える課題や人々の生活を、多面的・多角的に考え、理解できるようにする。

【知識及び技能等】（地理・地誌に関する基礎的な用語を理解している。）

【思考力・判断力・表現力等】（地理的な事象と人々の生活を比較し、関連付けながら学習している。）

【主体的に学習に取り組む態度】（地理や地誌に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
地理・地誌に関する基礎的な用語を理解している。	地理的な事象と人々の生活を比較し、関連付けながら学習している。	地理や地誌に興味・関心をもち、積極的に課題に取り組むとともに授業に参加している。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名・・・私たちが暮らす世界 【知識】:地球上の位置や範囲の捉え方・表し方に関する基本的な事項 【思考】:緯度や経度の違いと人々の生活を比較している。 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「24時間地球は眠らない」 「丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	4
	単元名・・・地図や地理情報システムの役割 【知識】:地図や地理情報システムに関する基本的な事項を理解できる。 【思考】:地図から得られる情報を比較している。 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「地図を使わない人はほとんどいない」 「地形や土地利用の歴史がひと目でわかる」 「このテーマ、どんな地図で表すべきか」 「地図の可能性はまだまだ広がる」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	8
	単元名・・・資料から読み取る現代世界 【知識】:各国の結びつきに関する基本的な事項が理解できる。 【思考】:各国の特徴を比較し、結びつきの背景などを考察している。 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「地球はどんどん小さくなっている」 「世界中はが、ネットでつながりはしたけれど」 「仕事に、旅行に。人々は外国をめざす」 「国どうしの貿易は、どう変化しているのか」 「国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	12
				○	○	○	
2 学 期	単元名・・・人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識】:人々の生活と地理的環境の因果関係に関する基本的な事項 【思考】:人々の生活の特徴と地理的環境を比較し、関係性について考察している 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「肉じゃがといえバ?」「牛肉だ!」「豚肉だ!」 「宗教に根差した、習慣や文化がある」 「山に住むには、どんな工夫が必要なのか」 「流れる川が、地形を変えていく」 「さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	6
	単元名・・・人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識】:人々の生活と地理的環境の因果関係に関する基本的な事項 【思考】:人々の生活の特徴と地理的環境を比較し、関係性について考察している 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「なぜこれほど違う?暑さ、寒さ、雨の量」 「強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は」 「雨が少ない!どうやって水を得る」 「クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで」 「長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	6
	単元名・・・人々の生活文化と多様な地理的環境 【知識】:人々の生活と地理的環境の因果関係に関する基本的な事項 【思考】:人々の生活の特徴と地理的環境を比較し、関係性について考察している 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか」 「工場は、どんな理由で、どんな場所に立つのか」 「売り方も、買い方も、社会とともに変化する」 「ものづくりも働き方も、ICTが変えていく」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	4
	単元名・・・自然災害と防災 【知識】:自然環境と防災に関する基本的な事項を理解できる。 【思考】:自然災害の要因から、効果的な防災方法を自分の言葉でまとめる 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「火山や、流れの速い川。日本は動き続けている」 「四季のある国の、季節ごとの天候は?」 「地震が発生するメカニズムとは」 「繰り返すを、災害史から学ぶ」 「火山をよく知り、共存していくために」 「雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす?」 「大雨で、あふれる水。何が起こるのだろうか」 「都市を襲う災害、危険はどこにある?」 「地域を災害から守るため、いま、できることは?」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	
3 学 期	単元名・・・生活圏の調査と地域の展望 【知識】:自らの生活圏に関する基本的な事項を理解できる。 【思考】:自らの生活圏の特徴から、その地域の展望を考察している。 【態度】:積極的に授業に参加し、地理的事象について自分の考えを持つ	「学校まわりの、地理的テーマを探せ!」 「「○○かな?」まずは仮説を立ててスタート」 「どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。」 「地域のこれからを、皆で考えていくために」	【知識】:定期考査 【思考】:ワークシートの記述 【態度】:提出物	○	○	○	9
	備考 「さまざまな地球的課題と国際協力」		【知識】:課題の記述				
	夏季休暇の宿題で扱う		【思考】:課題の記述 【態度】:提出物	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	

年間授業計画 様式例

東京都立橋 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科：公民科 科目：公共

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校 新公共』 ）

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】 必要な資料を正確に読み取り、現代社会の諸課題について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の諸課題とその解決について事実をもとに多面的・多角的に考察し、表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会を形成するために、公民として現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標： 自分自身のあり方・生き方や現代社会の諸課題について理解し、平和で民主的な国家や国際社会のあり方を考える。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。	現代の諸課題について事実をもとに知識・技能を活用して多面的・多角的に考察し、表現することができる。	現代社会の諸課題に関心を持ち、主体的に議論や学習活動に参加している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 社会に生きる私たち 【知識及び技能】 社会に参画する主体として必要な基本的な知識や概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期における自己のあり方や社会とのかわり方について考察し、自分の考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。 定期考査	「青年期を生きる私たち」 「個性の形成と自主・自立」 「日本人の伝統意識」	【知識・技能】 青年期の特徴や個性の成り立ち、日本文化とその背景にある思想について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、様々な社会集団の中で個人としてどのようにあるべきかを考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	10
				○	○	○	1
	B 単元 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 公共的な空間における基本的原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 先人たちの取り組みを踏まえて、公共的な空間を形成するために必要な基本的原理について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。 定期考査	「人間の尊厳と平等、個人の尊重」 「民主主義と法の支配」 「自由・権利と責任・義務」 「日本国憲法に生きる基本的原理」	【知識・技能】 平等や自由などの理念や立憲主義などの社会のあり方を決める考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、社会を維持・発展させていくために必要な原理を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	10
2 学期	C 単元 法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 法や規範に基づく紛争解決の手段とその意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 身のまわりの諸問題について知識・技能を活用して解決のしかたを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。 定期考査	「法とは何か」 「憲法と基本的人権」 「契約と消費者の権利・責任」 「司法参加の意義」	【知識・技能】 法の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、身の回りの諸課題の解決のしかたを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	10
				○	○	○	1
	D 単元 政治的な主体となる私たち 【知識及び技能】 民主政治を維持・推進するために必要な基本的知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 民主政治において主権者として求められることについて考え、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。 定期考査	「政治参加と公正な世論形成」 「日本の安全保障と防衛」	【知識・技能】 民主政治のあり方や各国の政治体制について理解している。 【思考・判断・表現】 主権者として民主政治にどのように参画していくかについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	10
3 学期	E 単元 経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 公正かつ自由な経済活動を行う上で必要な基本的知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 現代経済の課題について知識・技能を活用して考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。 定期考査	「経済とは何か」 「社会の変化と職業観」 「市場経済の機能と限界」	【知識・技能】 市場経済のしくみや職業生活について理解している。 【思考・判断・表現】 知識・技能を生かして、経済社会の課題とその解決について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。				7
				○	○	○	1
	F 単元 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】 現代社会が抱える諸課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力】 現代社会の諸課題について、これまでの学習を踏まえて解決策を考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、課題に対して自分の考えを持とうとしている。 定期考査	「排出権取引を考える」 「ベストミックスを考える」 「ゲノム編集を考える」 「インターネットによる投票を考える」 「フェアトレードを考える」	【知識・技能】 現代社会が抱える諸課題について理解している。 【思考・判断・表現】 現代社会の諸課題について、これまでの学習を生かして、その背景から解決策までを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に積極的に参加している。	○	○	○	18
				○	○	○	1
				○	○	○	合計 70

東京都立橋高等学校令和6年度 数学 数学Ⅰ 年間授業計画

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 3単位
対象学年組： 第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（ 最新数学Ⅰ（数研出版） ）
使用教材：（ Study-Upノート数学Ⅰ（数研出版） ）

教科の目標：

【知識及び技能等】（数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。）

【思考力・判断力・表現力等】（数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。）

【主体的に学習に取り組む態度】（数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名…数と式 【知識】:不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考】:問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 定期考查	・整式の加法・減法・乗法・展開公式 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・1次不等式 ・連立不等式	【知識】：定期考查から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	30
	定期考查			○	○		
2 学 期	単元名…2次関数 【知識】:二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。 【思考】:二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 定期考查	・ $y=ax^2$ のグラフ ・ $y=ax^2+q$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2$ のグラフ ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ ・平方完成 ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 ・2次方程式 ・2次不等式	【知識】：定期考查から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	39
	定期考查			○	○		
3 学 期	単元名…図形と計量 【知識】:正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考】:図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 単元名…集合と命題 【知識】:集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 【思考】:集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 単元名…データの分析 【知識】:コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、基本的な統計量を求めたりすることができる。 【思考】:目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行うことができる。 【態度】:粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようすることができる。 定期考查	・鋭角の三角比 ・三角比の利用 ・三角比の表 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・正弦定理・余弦定理 ・三角形の面積 ・集合と部分集合 ・共通部分、和集合、補集合 ・命題と集合 ・命題と証明 ・データの整理 ・データの代表値 ・四分位数、箱ひげ図	【知識】：定期考查から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断 【知識】：定期考查から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断 【知識】：定期考查から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	6
	定期考查			○	○		
	定期考查			○	○		6
	定期考查			○	○		

東京都立橘高等学校令和6年度 数学 数学A 年間授業計画

教科： 数学科 目： 数学A 単位数： 2単位
対象学年組： 第2学年（A組～F組）

教科担当者：

使用教科書：（ 最新 数学A(数研出版) ）

使用教材：（ Study-Upノート数学A（数研出版） ）

教科の目標：

【知識及び技能等】（数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。）
【思考力・判断力・表現力等】（数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。）
【主体的に学習に取り組む態度】（数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名…場合の数と確率 【知識】:集合をそれぞれの場合に適した形で表すことが出来る。 【思考】:場合の数を数える適切な方針を考察することが出来る。 【態度】:日常語の「かつ」「または」「～でない」との関連を認識しようとする。	・集合 ・樹形図、和の法則、積の法則 ・順列 ・円順列と重複順列 ・組合せ	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	20
	定期考査			○	○		
2 学 期	単元名…場合の数と確率 【知識】:確率の定義に基づき、事象の確率を求めることが出来る。 【思考】:思考の結果を事象としてとらえ、事象を既知の集合と結びつけて考えることが出来る。 【態度】:身近な試行によっておこる事象を関連づけながら、確率に興味・関心を持つ。	・確率の計算 ・確率の基本性質 ・独立な試行の確率 ・条件付き確率 ・期待値	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	10
	単元名…数学と人間の活動 【知識】:公約数、最大公約数の意味を理解し、それらを求めることが出来る。 【思考】:問題解決の過程を振り返って、割り算の余りの性質について考察を深めることが出来る。 【態度】:コンピュータなどの身近な物に、n進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。	・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・整数の割り算 ・最大公約数 ・ユークリッドの互除法 ・現代の記数法	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断				10
3 学 期	単元名…図形の性質 【知識】:三角形の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用できる。 【思考】:図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することが出来る。 【態度】:三角形の辺と角の大小関係という、自明に見える事実でも、論理的に考察しようとする。	・角の二等分線と比 ・三角形の内心、外心、重心 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形 ・方べきの定理 ・二つの円	【知識】：定期考査から判断 【思考】：提出物から判断 【態度】：授業への参加態度から判断	○	○	○	10
	定期考査			○	○		

年間授業計画様式

東京都立橋高等学校 令和6年度 理科・科学と人間生活 年間授業計画

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：

使用教科書：科学と人間生活（数研出版）

使用教材：新課程 科学と人間生活サポートノート 準拠（数研出版）

教科の目標：

- 【知識及び技能等】
- 【思考力・判断力・表現力等】
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- 自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究する。
- 観察、実験などを行い、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。
- 自然の物事・事象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	主体	配当 時数
1 学期	プラスチックの特徴と利用 【知識】：プラスチックの成分と特徴、活用を知る。 【思考】：プラスチックを取り巻く課題を知り、自分のできる取り組みを考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質、および用途について理解する。 ・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について、概ね理解している。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	金属の特徴と利用 【知識】：金属の成分と特徴、活用を知る。 【思考】：金属を取り巻く課題を知り、自分のできる取り組みを考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について認識している。 ・資源の再利用方法に関心を抱き、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
	タンパク質とDNA 【知識】：タンパク質やDNAについて知る。 【思考】：DNAの仕組みを知り、遺伝情報の表し方を考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・遺伝子によって決められているヒトの形質に興味を抱き、DNAの構造や特徴、塩基配列の重要性について理解している。 ・DNAの塩基配列が、タンパク質のアミノ酸配列に置き換えられるしくみについて関心をもち、転写・翻訳の流れを理解している。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
2 学期	生物の内部環境維持 【知識】：器官や環境維持の仕組みを知る。 【思考】：内部環境がどのように維持されているか理解し、その理由を考えられる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・内部環境の維持の重要性について理解し、血中濃度、糖尿病、生体防衛について理解する。 ・ヒトの器官の仕組みを知り、生体反応が生じる理由を考察できる。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	7
	熱の性質とその利用 【知識】：温度の定義やさまざまな熱現象を知る。 【思考】：熱運動によって現象が起こることを理解し、他のエネルギーや仕事との換算ができる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・熱によって生じる現象を、熱運動をもとに考察し、説明することができる。 ・さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもって学習している。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
3 学期	日本の成り立ちと防災 【知識】：日本列島の特徴や火山について知る。 【思考】：日本の地形を理解し、防災・減災のためにどのように対応すればいいか考察し実行できる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解している。 ・火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	気象と防災 【知識】：地震や気象の基本事項について知る。 【思考】：日本の地形を理解し、防災・減災のためにどのように対応すればいいか考察し実行できる。 【態度】：積極的に授業に参加し、自ら調べ、表現しようとしている。	・地震の発生のしくみや日本列島の地震活動とプレート、河川や海水のはたらきによって形成された地形について科学的に理解している。 ・地震や津波、豪雪、台風、集中豪雨、土砂災害など、日本列島で見られる気象災害の特徴と防災について考えられる。	【知識】：調査・小テスト等 【思考】：調査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	6
	定期考査			○	○		

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教 科： 理科 科 目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 実教出版 高校生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】日常生活を図りつつ物質とその変化を理解し、科学的探究に必要な基本的技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生命活動に興味を持って主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察 ささまざまな生物を観察して共通する特徴を探す 実験 DNAの抽出 ②生物の共通性の由来 脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考える 細胞の構造と働きについて理解する	・ 生物の多様性を理解する。 ・ 生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・ DNAを抽出実験を行い、DNAをもつことが生物に共通してみられる特徴であることを確認する。 ・ 生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 ・ 原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、細胞小器官の機能の概要を理解する。	【知識・技能】 生物の多様性、進化、系統、適応について理解できる 細胞小器官の構造と働きについて理解できる 【思考・判断・表現】 生物の系統について、生物の共通性と多様性を元に、進化の道筋を推論できる 原核細胞、動物細胞、植物細胞の構造の違いについて判断することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 生物や細胞に興味・関心を持ち、生命の尊厳について考えることができる	○	○	○	4
	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー 代謝とそれに伴うエネルギーの変化について理解する ②代謝とATP 代謝におけるATPの役割について考える ③代謝と酵素 代謝において酵素がどのように働いているか理解する 実験 酵素カタラーゼの働き	・ 代謝には同化と異化があることと、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 ・ 代謝におけるATPの役割を資料から読み取る。 ・ 光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、有機物を合成する過程であることを理解する。 ・ 呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。 ・ 酵素の基本的な特徴について理解する。 ・ 肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。	【知識・技能】 代謝における物質とエネルギーの変化について理解できる ATPや酵素の生体内での働きについて理解できる 呼吸と光合成における物質の変化とATPの合成について理解できる 【思考・判断・表現】 同化と異化の違いについて判断できる 酵素の働きが外部条件により異なることが説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生体における代謝の重要性について理解し、日頃の生活でどのように役に立っているか考えることができる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考える ②DNAの複製と分配 DNAの複製のしくみを考える DNAの半保存的複製を理解する 観察 細胞周期の各時期にかかる時間の推定	・ 遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・ DNAの基本的な構造を理解する。 ・ 塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 ・ 分裂している細胞には細胞周期がみられることを理解する。 ・ 間期にDNAが複製され、細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。 ・ 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 ・ 細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。	【知識・技能】 DNAやタンパク質の構造について理解できる DNAの遺伝情報からタンパク質が作られる過程について理解できる 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列から、RNAの塩基配列やアミノ酸の塩基配列を判断できる ゲノムの違いにより生物の特徴が異なることを考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の働きにより、生体の機能が正常に行われていることを理解できる 遺伝子の発現により、細胞の多様性が生じていることを理解できる	○	○	○	6
	2. 遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考える ②転写と翻訳 mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取る ③遺伝子とゲノム 遺伝子とゲノムの関係について理解する	・ 多種多様なタンパク質がさまざまな働きをしていることを理解する。 ・ タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。 ・ DNAの塩基配列において、3つの塩基の並び（コドン）が1つのアミノ酸に対応していることを理解する。	【知識・技能】 DNAの遺伝情報が発現することにより、生物の形質が現れることを理解できる DNAの塩基配列がアミノ酸を指定していることを理解できる 【思考・判断・表現】 mRNAの塩基配列からアミノ酸配列を判断できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の形質がDNAの塩基配列によって決定され				

		・ DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ（転写），これがアミノ酸配列に置き換えられる（翻訳）という流れを理解する。 ・ 遺伝暗号表をもとに，あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 ・ 遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。 ・ 全遺伝子が常に発現しているのではなく，細胞によって発現する遺伝子が異なっていることを理解する。	ていることについて理解する 進化の過程によって，DNAの塩基配列が変化し，様々な生物が現れたことを推測する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 ②恒常性と内分泌系 ③体内環境を調節するしくみ ④血液凝固	・ ヒトの神経系と脳、自律神経系の働きについて理解する。 ・ 内分泌系による調節，フィードバック調節について理解する。 ・ 血糖濃度調節と糖尿病について，自律神経系とホルモンの働きをもとに理解する。 ・ 体温調節について，自律神経系とホルモンの働きをもとに理解する。 ・ 血液凝固について理解する。	【知識・技能】 神経系と脳、自律神経とホルモンによる調節について理解する 【思考・判断・表現】 血糖濃度や体温が自律神経とホルモンがによってどのように調節されているか考えて、発表できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の体が、さまざまな器官の働きによって調節されていることについて、主体的に学習に取り組む	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第2節 免疫 ①生体防御 ②自然免疫 ③獲得免疫 ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	・ 生体の物理的・化学的防御について理解する。 ・ 免疫反応（自然免疫・獲得免疫）について理解する。 ・ 免疫疾患（自己免疫疾患，アレルギー，免疫不全症）について理解する。 ・ 免疫を利用した医療（予防接種，血清療法）について理解する。	【知識・技能】 免疫の仕組みと働きについて理解できる 免疫疾患の症状や仕組みについて理解できる 【思考・判断・表現】 抗原を効率的に排除する過程について，説明できる 感染症予防のため，どのような生活をおくればよいか，説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫が自分の健康に役立っていることを理解し，日頃の生活に役立てることができる	○	○	○	7
	第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 ①植生と環境の関わり ②遷移のしくみ	・ 植生とその特徴，植生と環境との関係について理解する。 ・ 陰生植物と陽生植物，陽葉・陰葉について理解する。 ・ 一次遷移のモデル的過程について理解する。 ・ 一次遷移と二次遷移について理解する。	【知識・技能】 植生と環境との関係について理解できる 陰生植物と陽生植物，遷移について理解する 【思考・判断・表現】 どのような環境で陰生植物と陽生植物が有利になるか説明できる どのような過程で遷移が振興するか説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な植物の光合成と生活について，興味を持ち，調べることができる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第2節 バイオーム ①遷移とバイオーム	・ 植生の遷移とバイオーム（資料12，資料13） ・ 世界のバイオーム ・ 日本のバイオーム（垂直分布と水平分布）	【知識・技能】 それぞれのバイオームの特徴について理解できる 【思考・判断・表現】 植生が気温と降水量により変化することを説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 身近なバイオームについて興味を持ち，調べることができる	○	○	○	5
	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち ②生態系における生物どうしの関わり	・ 生態系の概念，作用と環境形成作用。 ・ 生態系における生物の種の多様性を見いだす。 ・ 食物連鎖と食物網について理解する。 ・ 種の多様性と生物間の関係性について理解する。	【知識・技能】 生態系がどのように構成されているか理解する 【思考・判断・表現】 身近な生態系における種の多様性について説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系において種の多様性が大事であることを説明できる	○	○	○	6
	第2節 生態系のバランスと保全 ①生態系の変動と安定性 ②人間活動による生態系への影響とその対策	・ 生態系のバランスと人為的攪乱について理解する。 ・ 自然浄化について理解する。 ・ 人間活動による生物の多様性への影響について理解する。 ・ 生態系の保全の重要性を認識する。	【知識・技能】 生態系のバランスが，人間の活動により失われている事例について理解できる 【思考・判断・表現】 人為的攪乱が生態系にどのように影響しているのか説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系を保全するために何が必要なのか，自ら考えて行動する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 産業（ビジネス） 科目 簿記（1学年）

教 科： 産業（ビジネス） 科 目： 簿記（1学年） 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 新簿記(実教出版（7実教 商業709））

教科 産業（ビジネス） の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】ビジネスの基礎的知識の定着と技能の修得を図りながら、ビジネスの実践力を養っていく。
- 【思考力、判断力、表現力等】ビジネス的な思考で課題に取り組み、適切な判断で課題の解決を図るとともに、自らの考えをうまく表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に知識や技能の修得に励みながら向上しようとする姿勢と、周りと協調して課題解決を図っていく人間性を養う。

科目 簿記（1学年） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基礎的・基本的事項の理解できているか。 ・記帳技術の習熟ができているか。 ・習得した知識・技術を生かして各種検定試験問題等応用的な課題を解決できるか。	・習得した知識・技術を生かして、取引事例の記録（仕訳演習）や、帳簿類・証憑類・財務諸表等の作成が正確・迅速に進められるか。 ・習得した知識・技術をビジネスの実際場面に照らした理解が進んでいるか。	・学習の進度に応じて深まる課題や演習問題に対し自らの学習を振り返り、解決しようとしているか。 ・企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力を身に付けるために、ビジネスの実際場面に照らして課題を設定し、解決しようとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第2編 取引の記帳（その1） 第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引 （除：仕入帳、売上帳、商品有高帳） 第12章 掛け取引 （除：売掛金元帳、買掛金元帳）	簿記の意味、目的、種類、歴史、必要性について確認する。 簿記における取引の概念、勘定の意味と役割、取引要素の結合関係、貸借平均の原理、仕訳演習・転記の意味と方法について問題演習等を通して理解する。 資産・負債・純資産の基本的な概念と貸借対照表の役割と構造および当期純損益の計算方法について問題演習等を通して理解する。 取引の仕訳演習についての基本的な手法について3分法による記帳練習等を通して理解し習得する。 現金、預金の取引及び預金の種類について仕訳演習を通して理解する。 商品売買の取引について仕訳演習を通して理解する。 商品の仕入れと売上げ、返品と値引について、3分法による仕訳演習を通して理解する。	【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解をしているか、理解の定着が図られているか、理解が深まっているか。 記帳技術が身についているか。 【思考・判断・表現】 演習問題の事例について、ビジネスの実際場面に照らして理解が進んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容、指導事項について理解を進めるための学習の振り返りができているか。	○	○	○	15
	中間考査		【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解の定着が図られているか。 【思考・判断・表現】 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に表現できているか。	○	○		1
	第1編 簿記の基礎 第3章 収益・費用と損益計算書 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳演習と転記 第15章 固定資産の取引 第25章 有価証券の取引 第17章 販売費と一般管理費、税金の取引	収益・費用の 基本的な概念と損益計算書の役割と構造 および当期純損益の計算方法について問題演習等を通して理解する。 簿記における取引の概念、勘定の意味と役割、仕訳演習・転記の意味と方法について問題演習等を通して理解する。 固定資産の種類とその取引について仕訳演習を通して理解する。 有価証券の種類と取引について仕訳演習を通して理解する。 販売費および一般管理費の概念と種類について仕訳演習を通して理解する。	【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解をしているか、理解の定着が図られているか、理解が深まっているか。 【思考・判断・表現】 演習問題の事例について、ビジネスの実際場面に照らして理解が進んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容、指導事項について理解を進めるための学習の振り返りができているか。	○	○	○	20
	期末考査		【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解の定着が図られているか。 【思考・判断・表現】 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に表現できているか。	○	○		1
	第1編 簿記の基礎 第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引 第16章 個人企業の資本の取引 第5編 取引の記帳（その2） 第24章 特殊な手形の取引	手形の種類、約束手形の振出・受取・裏書・割引・書き換え、不渡手形・手形借入金について仕訳演習を通して理解する。 前払金・前受金、未収金・未払金、貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金、立替金・預り金、仮払金・仮受金および商品券等について仕訳演習を通して理解する。 個人企業の純資産を増加・減少させる取引、引出金に関する処理について仕訳演習をとおして理解する。 既習事項の取り引きについて一巡の手続きの流れに沿った証憑類の作成や記帳法の学習、記帳演習を通して実際の・体	【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解をしているか、理解の定着が図られているか、理解が深まっているか。 記帳技術が身についているか。 【思考・判断・表現】 演習問題の事例について、ビジネスの実際場面に照らして理解が進んでいるか。 記帳技術の向上が図られているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容、指導事項について理解を進めるための学習の振り返りができているか。	○	○	○	20
	第1編 簿記の基礎 第6章 仕訳演習帳と総勘定元帳 第11章 「商品売買の取引」のうち、仕入帳、売上帳、商品有高帳 第12章 「掛け取引」のうち、売掛金元帳、買掛金元帳						

2 学 期	第 4 編 会計帳簿と帳簿組織 第22章 伝票の利用	験的に理解する。 主要簿と補助簿など帳簿の種類とそれ ぞれの関係、企業の分課制度と会計帳簿 の関係および帳簿の形式について実際 的・体験的に理解する。					
	中間考査		【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解の定着が 図られているか。 【思考・判断・表現】 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に 表現できているか。	○	○	1	
	第 1 編 簿記の基礎 第7章 試算表 第8章 精算表 第 3 編 決算（その1） 第18章 決算整理（その1） 第19章 8桁精算表 第20章 帳簿決算	決算整理の意味について理解し、売上 原価の算定、貸倒れの見積り、固定資産 の減価償却費の計算と記帳（定額法と直 接法）、現金過不足の整理および引出金 の整理について理解する。 財務諸表を作成するための棚卸表およ び8桁精算表を作成する方法について理 解し、習得する。 勘定式の貸借対照表と損益計算書を作 成する方法について理解し、資料をもと に財務諸表を作成する方法について理解 し、習得する。	【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解をしてい るか、理解の定着が図られているか、理解が 深まっているか。 記帳技術が身についているか。 【思考・判断・表現】 記帳技術の向上が図られているか。 演習問題の事例について、ビジネスの実際 場面に照らして理解が進んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容、指導事項について理解を進める ための学習の振り返りができているか。	○	○	○	25
	期末考査		【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解の定着が 図られているか。 【思考・判断・表現】 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に 表現できているか。	○	○		1
3 学 期	1・2 学期既習事項の総合演習 第 1 編 簿記の基礎 分記法による記帳	1・2 学期の学習事項について総合演 習問題を通して理解を深めるとともに、 記帳技術を向上する。 取引の仕訳演習から勘定の転記記入 についての基本的な流れを分記法による 記帳練習等を通して理解し習得する	【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解をしてい るか、理解の定着が図られているか、理解が 深まっているか。 【思考・判断・表現】 演習問題の事例について、ビジネスの実際 場面に照らして理解が進んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容、指導事項について理解を進める ための学習の振り返りができているか。	○	○	○	20
	学年末考査		【知識・技能】 学習内容、指導事項について理解の定着が 図られているか。 【思考・判断・表現】 解答を得るために正確・迅速にかつ適切に 表現できているか。	○	○		1
							合計
							105

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

産業（ビジネス）科目 簿記

教科：産業（ビジネス） 科目：簿記

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ F組

教科担当者：

使用教科書：（新簿記 実教出版

）

教科 産業（ビジネス） の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1. 2年生で学んだ簿記、マーケティングの知識を活用し、模擬取引を通して実践的技能を身に付けるとともに、企業経営のしくみを理解する。	模擬取引を通して、利潤をあげるためにはどのような取引を進めていくか思考しながら、経営判断をできる力を養うとともに、取引相手とのコミュニケーション力も身に付けていく。	積極的に模擬取引を進め、知識や技能を身に付けようとする姿勢と、同じ会社で一緒に進めていく仲間と協力し合う姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1. 費用の前払分を繰り延べる 2. 消耗品の処理 3. 収益の前受分を繰り延べる 4. 費用の未払分を計上する 5. 収益の未払分を計上する 6. 精算表（1） 7. 有価証券の評価 8. 間接法による減価償却 9. 精算表（2）	・決算にあたって正しい当期純損益を計算するために、費用・収益の繰り延べ、費用・収益の見越しを行い当期の正しい発生高を計上できるようにする。 ・決算整理事項の処理を正しく行い、精算表・貸借対照表・損益計算書が正確に作成できるようにする。	【知識・技能】 ・取引を正しく仕訳できるか評価 【思考・判断・表現】 ・精算表・貸借対照表・損益計算書を正確に作成できるかを評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	14
	10. 現金出納帳 11. 当座預金出納帳 12. 仕入帳の記入と元帳転記 13. 売上帳の記入と元帳転記 14. 伝票の起票と集計 15. 伝票の集計と転記	・商品売買の取引を仕訳し、勘定に転記し、補助簿に記帳できるようにする。 ・3伝票の起票、集計、仕訳集計表から総勘定元帳へ転記できるようにする。	【知識・技能】 ・取引を正しく仕訳できるか、正しく伝票を起票できるかを評価 【思考・判断・表現】 ・補助簿・仕訳集計表を正しく記帳できるかを評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	16
	定期考査			○	○		2
2 学 期	16. 本支店間の取引 17. 本支店の財務諸表の合併 18. 支店相互間の取引 19. 特殊な商品売買の取引 20. 株式会社の設立と株式の発行 21. 余剰金の配当と分配 22. 株式会社の税金 23. 固定資産の売却 24. クレジットの売掛金 25. 電子記録債権・債務	・特殊な商品売買の取引を学び、仕訳及び記帳ができるようにする。 ・支店会計が独立している場合の記帳方法、本支店の財務諸表の合併について理解する。 ・本支店間の未達事項を正しく処理し、合併の貸借対照表・損益計算書を正しく作成する。 株式の発行、売買について正しく理解し、記帳できるようにする。 社債の発行・償還について理解し、正しく記帳できるようにする。	【知識・技能】 ・本支店間および支店相互の取引を理解しているかを評価・株式会社の 【思考・判断・表現】 ・補助簿を正しく記帳できるかを評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	26
				○	○		2
3 学 期	全国商業高等学校主催「簿記実務検定」2級の問題（全員受験）	全商簿記検定2級合格に向けて取り組む。	定期考査、特別考査、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断し評価する。	○	○	○	10
							合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 産業(ビジネス) 科目 マーケティング

教 科： 産業(ビジネス) 科 目： マーケティング 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 実教出版 マーケティング ）

使用教材：（ 実教出版 マーケティング 教科書準拠問題集 ）

教科 産業（ビジネス） の目標：

【知識及び技能】 マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 マーケティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における事例など実際のマーケティングと関連つけて理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付ける。	課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例などに基づいて、よりよく解決することについて考える。	当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任をもって取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 マーケティングの概要 1. マーケティングの歴史と発展 2. 現代の市場とマーケティング 3. マーケティング環境の分析 4. マーケティング・マネジメント 第2章 消費者行動の理解 1. 消費者の心理と行動の関係 2. 購買意思決定過程 3. 消費者行動に影響を与える要因 【知識及び技能】 マーケティングの概要と消費者行動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者心理や行動に与える影響について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	マーケティングを学ぶ意義を理解する。 現代市場の特徴を理解し、マーケティングの考え方や手順について学ぶ。 現代市場における消費者保護や環境問題、法令遵守、企業の社会的責任などの重要性について理解を深める。マーケティングの意義や一連の流れを学ぶ。 マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について学ぶ。 消費者の心理や購買意思決定までの過程、消費者行動に影響を与える要因について理解する。 消費者行動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	10
	第3章 市場調査 1. 市場調査の概要 2. 市場調査の手順 3. 仮説検証の手順 4. 実態調査の方法 第4章 STP 1. セグメンテーション 2. ターゲティング 3. ポジショニング 【知識及び技能】 市場調査とSTP分析を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 調査結果で得られた情報を分析する。また、STP分析に関する課題を発見し、対応策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	市場調査について理解し、関連する技術を学ぶ。 市場調査に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づく調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を分析する。 市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に積極的に取り組む。 STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。また、その課題を発見し、その解決方法を考える。 STP分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第5章 製品政策 1. 製品政策の概要 2. 新製品開発 3. 販売計画と生産計画 4. 製品政策の動向 第6章 価格政策 1. 価格政策の概要 2. 価格の設定方法 3. 価格政策の動向 【知識及び技能】 製品政策と価格政策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 製品政策の課題について考察し、自分の意見を表現する。価格政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現する。	製品政策について企業における事例と関連付けて理解する。 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、製品政策を立案して実施し、評価・改善する。 価格政策について企業における事例と関連付けて理解する。 価格政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、価格政策を立案して実施し、評価・改善する。 価格政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、価格政策に主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第7章 チャネル政策 1. チャネル政策の概要 2. チャネルの選択と管理 3. チャネル政策の動向 第8章 プロモーション政策 1. プロモーション政策の概要 2. プロモーションの種類 3. プロモーション政策の動向 【知識及び技能】 チャネル政策とプロモーション政策を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プロモーション政策の課題を、経済や消費者の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に授業に参加し、自ら考え、表現しようとしている。	チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解する。 チャネル政策に関する課題を発見する。また、自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、チャネル政策に主体的かつ協働的に取り組む。 プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解する。 プロモーション政策に関する課題を発見し、それを踏まえてプロモーション政策を立案して実施し、評価・改善する。 経済や消費者の動向などを踏まえ、プロモーション政策に主体的かつ協働的に取り組む。	【知識・技能】 小テスト・考査等 【思考・判断・表現】 プリント・問題集・考査等 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠・プリント・提出物・授業態度等	○	○	○	10
	定期考査			○	○		合計
	定期考査			○	○		70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 産業（ビジネス） 科目 マネジメント演習

教科： 産業（ビジネス） 科目： マネジメント演習 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ ビジネス法規 実教出版 ）

教科 産業（ビジネス） の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 マネジメント演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1章 法の概要 1節 ビジネスにおける法の役割	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ・ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	34
	第2章 権利・義務と財産権 1節 権利・義務とその主体 2節 物と物権・債権	・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて理解する。					
	3節 知的財産権	・特許権、実用新案権、育成者権、回路配置利用権、不正競争防止法による保護、デザインやマークなどに関する知的財産権である意匠権、商標権など知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解する。 ・知的財産権が侵害されたときの対抗手段について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。					
	定期考査						2
2 学 期	第3章 財産権の変動 4節 不法行為 5節 時効	・契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ・ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価				
	第4章 企業活動と法規 1節 企業活動の主体 2節 株式会社の特徴と機関	・企業活動の主体とその商行為の概要について理解する。 ・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について法規と関連付けて理解する。					
	3節 資金調達と金融取引 4節 組織再編と清算・再建 5節 競争秩序の確保	・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解する。 ・組織再編の形態について理解する。					
	第5章 企業責任と法規 1節 法令遵守と説明責任 2節 労働者の保護 3節 消費者の保護 4節 情報の保護	・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解している。 ・労働時間、休日、休暇、就業規則及び労働災害に関する規定と考え方について理解している。 ・労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・消費者基本法、消費者契約法、不当景品類及び不当表示防止法、特定商取引法など消費者の保護に関する法規の概要について理解している。 ・企業活動を展開する際の消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	46	
3 学 期	第6章 紛争の解決と予防 1節 紛争の解決 2節 紛争の予防	・個人情報保護法、不正アクセス禁止法、不正競争防止法など企業が扱う情報の保護に係る法規の概要について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。 ・公証制度の概要、和解、調停及び仲裁の目的、手続、効力並びに民事訴訟制度の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・企業における紛争の予防と解決に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析					
	定期考査						2
	第7章 税と法規 1節 税の種類と法人の納税義務 2節 法人税の申告と納付 3節 消費税の申告と納付	・国税、地方税、直接税、間接税など税の種類と分類、法人税、法人住民税など法人に対する税の概要について理解する。 ・企業会計と税務会計との関係、税務調整、法人税の申告と納付の仕組み及び申告書の作成など手続の概要について、法規と関連付けて理解する。 ・消費税の仕組み、課税事業者と免税事業者の違い、課税対象、税額計算の考え方、消費税の申告・納税の仕組み		○	○	○	20
	学年末考査						1
							合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 産業（ビジネス） 科目 マネジメント演習

教科： 産業（ビジネス） 科 目： マネジメント演習 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ マネジメント演習テキスト（自校作成） ）

教科 産業（ビジネス） の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】ビジネスの基礎的知識の定着と技能の修得を図りながら、ビジネスの実践力を養っていく。
- 【思考力、判断力、表現力等】ビジネス的な思考で課題に取り組み、適切な判断で課題の解決を図るとともに、自らの考えをうまく表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】積極的に知識や技能の修得に励みながら向上しようとする姿勢と、周りと協調して課題解決を図っていく人間性を養う。

科目 マネジメント演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1. 2年生で学んだ簿記、マーケティングの知識を活用し、模擬取引を通して実践的技能を身に付けるとともに、企業経営のしくみを理解する。	模擬取引を通して、利潤をあげるためにはどのような取引を進めていくか思考しながら、経営判断をできる力を養うとともに、取引相手とのコミュニケーション力も身に付けていく。	積極的に模擬取引を進め、知識や技能を身に付けようとする姿勢と、同じ会社で一緒に進めていく仲間と協力し合う姿勢を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 授業の進め方、授業用具の準備 2 オフィスのコミュニケーション (1)メモのとり方 (2)オフィスの敬語 (3)ビジネスマナーの基本 (4)演習 【知識及び技能】 ビジネスマナー、身だしなみ 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーション能力 【学びに向かう力、人間性等】 授業に取り組む姿勢の醸成	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	6
	3 ビジネスのコミュニケーション (1)電話の応対(2)見積依頼書の作成 (3)商品発送手続き (4)代金決済 4 記帳練習 (1)文字の記入・訂正・押印 (2)帳簿の作成 (3)領収証・小切手・封書の作成 【知識及び技能】 実践的簿記力、各種帳票類作成 【思考力、判断力、表現力等】 丁寧な帳票類の作成 【学びに向かう力、人間性等】 授業に取り組む姿勢	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	6
	5 取引演習 (1)株式会社の設立 (2)開業処理 (3)取引演習 (4)模擬取引演習（指定取引） (5)パソコンシステムの活用 【知識及び技能】 実践的簿記力 各種帳票類作成 【思考力、判断力、表現力等】 丁寧な帳票類の作成 【学びに向かう力、人間性等】 授業に取り組む姿勢	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	37
	定期考査		各種帳票類作成、ビジネスマナーの理解度	○	○		1
2 学 期	5 取引演習 (6)1学期の復習・確認 (7)利益目標・仕入計画・販売計画 (8)模擬取引（自主取引－1） (9)月末報告書の作成・提出 (10)模擬取引（自主取引－2）	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	45
	定期考査		各種帳票類作成、ビジネスマナーの理解度	○	○		1
3 学 期	5 取引演習 (11)1・2学期の復習・確認 (12)模擬取引（自主取引－3） 6 決算 (1)帳票の整理 (2)決算 (3)報告書の作成 7 まとめと発表	・演習用ソフトの使い方 ・テキスト、ビジネスマナープリント 伝票及び各種帳簿類	【知識・技能】 ・伝票、各種帳票の作成における正確さ、丁寧さPC入力との齟齬なしを評価 ・決算書類の正確さと営業利益 【思考・判断・表現】 ビジネスコミュニケーションプリント、営業日誌の内容を評価 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出欠状況、授業態度、身だしなみ等による評価	○	○	○	9
							合計 105

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 科目 年間授業計画

教科 科：保健体育科目：体育 単位数：2単位
対象学年組：第1学年A組～F組
教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（各種ボール、シャトル、ラケット、タイマー等
教科の目標：①基礎的体力と運動技能の向上を図る。②健康・安全についての理解を深める。③集団における自己の役割を自覚して、協力及び責任ある行動を
する。④創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

- 【知識及び技能等】
- 【思考力・判断力・表現力等】
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- ・ルールや知識を身に付ける。・技能向上・記録更新を目指す。・体力の向上を目指す。
- ・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。
- ・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

【A：知識及び技能】	【B：思考力、判断力、表現力等】	【C：学びに向かう力、人間性等】
・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。	・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる	・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
	単元名・・・バレーボール・ソフト ボール Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターし チームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム ◎ソフトボー ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎	バレーボール ソフトボール 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	11
	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
2 学 期	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・ソフトボール・バスケットボール・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	ソフトボール・バスケットボール・バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	20
	単元名・・・陸上 ・自己の体力向上を目指す ・自己のベストタイムに挑戦する ・生涯体育への導入にする	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
3 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入に	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ姿勢や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	8
	単元名・・・サッカー Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎サッカー ・パス、ドリブル、シュート、シュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム	サッカー 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	5
	体育理論 Aスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 Bスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 Cスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 機器を活用した調べ学習	ICT 【知識・技能】AできたBややできたCできてない スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

2 学 期	【知識及び技能】 休養・睡眠と健康の関係や適切な取り方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について判断、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 休養・睡眠と健康について積極的に学び自身の生活に生かそうとしている	・教材 ・一人1台端末の活用等	休養・睡眠と健康の関係や適切な取り方について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について判断、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 休養・睡眠と健康について積極的に学び自身の生活に生かそうとしている	○	○	○	2
	単元 喫煙と健康 【知識及び技能】 喫煙者やその周囲の人間に起こる害について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙対策について、個人と社会に分けて思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 喫煙者やその周囲の人間に起こる害について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙対策について、個人と社会に分けて思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	○	○	○	2
	単元 飲酒と健康 【知識及び技能】 飲酒による短期的影響と長期的影響を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について思考し、判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 飲酒による短期的影響と長期的影響を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について思考し、判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	○	○	○	2
	単元 薬物乱用と健康 【知識及び技能】 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 薬物乱用防止の為に個人や社会環境への対処を考え表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 薬物乱用と健康について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 薬物乱用防止の為に個人や社会環境への対処を考え表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 薬物乱用と健康について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
	単元 精神疾患の特徴 【知識及び技能】 精神疾患の特徴の例を挙げ、発病の要因や主な症状について説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会における精神保健の課題を思考・判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 精神疾患の特徴の例を挙げ、発病の要因や主な症状について説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会における精神保健の課題を思考・判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
	単元 精神疾患の予防 【知識及び技能】 精神疾患を予防する方法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の早期発見のために必要なことを思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 精神疾患を予防する方法について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の早期発見のために必要なことを思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防について意欲的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
	単元 精神疾患からの回復 【知識及び技能】 精神疾患の治療について例を挙げ説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境を思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患からの回復について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 精神疾患の治療について例を挙げ説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境を思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患からの回復について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 応急手当の意義とその基本 【知識及び技能】 応急手当の意義とその基本について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 応急手当の意義とその基本について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	2
	単元 日常的な応急手当 【知識及び技能】 日常的なけがや応急手当の手順や方法について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 日常的なけがや熱中症の応急手当を表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に応急手当の意義とその基本を学び、実践できるようにする	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 日常的なけがや応急手当の手順や方法について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 日常的なけがや熱中症の応急手当を表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に応急手当の意義とその基本を学び、実践できるようにする	○	○	○	2
	単元 心肺蘇生法 【知識及び技能】 心肺蘇生法の方法と手順について理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 心肺蘇生法を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に心肺蘇生法について学習している	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 心肺蘇生法の方法と手順について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 心肺蘇生法を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に心肺蘇生法について学習している	○	○	○	3
	学年末考査						1 30

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書： （ 現代高等学校保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】

健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者

【学びに向かう力、人間性等】

生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当性
1 学 期	単元 健康の考えと成り立ち 【知識及び技能】 様々な健康の考え方について理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 健康ウを成り立たせている要因について思考し、表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 自分にとっての健康の定義を考え、積極的に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 様々な健康の考え方について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 健康ウを成り立たせている要因について思考し、表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 自分にとっての健康の定義を考え、積極的に取り組もうとしている	○	○	○	1
	単元 私たちの健康のすがた 【知識及び技能】 国民の健康課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 健康には主体・環境要因が影響していることを志向し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 健康には生活の質や生きがいも重要であり、それらを積極的に学んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 国民の健康課題について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 健康には主体・環境要因が影響していることを志向し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 健康には生活の質や生きがいも重要であり、それらを積極的に学ぼうとしている	○	○	○	2
	単元 生活習慣病の予防と回復 【知識及び技能】 様々な生活習慣病について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病のリスクを増減する生活を志向し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病を予防する要因を積極的に学び自分の生活に取り入れる工夫をしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 様々な生活習慣病について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病のリスクを増減する生活を志向し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病を予防する要因を積極的に学び自分の生活に取り入れる工夫をしている	○	○	○	2
	単元 がんの原因と予防 【知識及び技能】 様々ながんの種類について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 がんの要因やリスクについて理解し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 がんを予防するための生活習慣を積極的に学び、自身や周囲に還元する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 様々ながんの種類について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 がんの要因やリスクについて理解し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 がんを予防するための生活習慣を積極的に学び、自身や周囲に還元する	○	○	○	2
	単元 がんの治療と回復 【知識及び技能】 様々ながんの治療法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 がんの治療法や回復について思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 がんの治療法について積極的に学ぼうとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 様々ながんの治療法について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 がんの治療法や回復について思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 がんの治療法について積極的に学ぼうとしている	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1

単元 運動と健康 【知識及び技能】 運動と健康の関係について説明できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じた健康的な運動の仕方について考え、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 運動と健康の関係について積極的に学んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 運動と健康の関係について説明できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じた健康的な運動の仕方について考え、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 運動と健康の関係について積極的に学んでいる	○	○	○	1
単元 食事と健康 【知識及び技能】 食事と健康の関係について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 健康的な食事のとり方について考え、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 食事と健康について意欲的に学習している	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 食事と健康の関係について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 健康的な食事のとり方について考え、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 食事と健康について意欲的に学習している	○	○	○	1
単元 休養・睡眠と健康 【知識及び技能】 休養・睡眠と健康の関係や適切な取り方について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について判断、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 休養・睡眠と健康について積極的に学び自身の生活に生かそうとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 休養・睡眠と健康の関係や適切な取り方について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について判断、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 休養・睡眠と健康について積極的に学び自身の生活に生かそうとしている	○	○	○	2
単元 喫煙と健康 【知識及び技能】 喫煙者やその周囲の人間に起こる害について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙対策について、個人と社会に分けて思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 喫煙者やその周囲の人間に起こる害について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙対策について、個人と社会に分けて思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	○	○	○	2
単元 飲酒と健康 【知識及び技能】 飲酒による短期的影響と長期的影響を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について思考し、判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 飲酒による短期的影響と長期的影響を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について思考し、判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	○	○	○	2
単元 薬物乱用と健康 【知識及び技能】 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 薬物乱用防止の為に個人や社会環境への対例を考え表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 薬物乱用と健康について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 薬物乱用防止の為に個人や社会環境への対例を考え表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 薬物乱用と健康について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
単元 精神疾患の特徴 【知識及び技能】 精神疾患の特徴の例を挙げ、発病の要因や主な症状について説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会における精神保健の課題を思考・判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 精神疾患の特徴の例を挙げ、発病の要因や主な症状について説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会における精神保健の課題を思考・判断することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の特徴について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
単元 精神疾患の予防 【知識及び技能】 精神疾患を予防する方法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の早期発見のために必要なことを思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 精神疾患を予防する方法について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の早期発見のために必要なことを思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防について意欲的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1

	単元 精神疾患からの回復 【知識及び技能】 精神疾患の治療について例を挙げ説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境を思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患からの回復について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 精神疾患の治療について例を挙げ説明できる 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の適切な治療や回復のために必要な社会環境を思考し表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患からの回復について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1
3学期	単元 応急手当の意義とその基本 【知識及び技能】 応急手当の意義とその基本について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 応急手当の意義とその基本について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントを思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	2
	単元 日常的な応急手当 【知識及び技能】 日常的なけがや応急手当の手順や方法について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 日常的なけがや熱中症の応急手当を表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に応急手当の意義とその基本を学び、実践できるようにする	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 日常的なけがや応急手当の手順や方法について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 日常的なけがや熱中症の応急手当を表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に応急手当の意義とその基本を学び、実践できるようにする	○	○	○	2
	単元 心肺蘇生法 【知識及び技能】 心肺蘇生法の方法と手順について理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 心肺蘇生法を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に心肺蘇生法について学習している	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 心肺蘇生法の方法と手順について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 心肺蘇生法を行うことができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に心肺蘇生法について学習している	○	○	○	3
学年末考査							1
合計							30

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 科目 年間授業計画									
教 科：保健体育科目：体育		単位数：2単位							
対象学年組：第2学年A組～F組									
教科担当者：									
使用教科書：（		）							
使用教材：（各種ボール、シャトル、タイマー等		）							
教科の目標：①基礎的体力と運動技能の向上を図る。②健康・安全についての理解を深める。③集団における自己の役割を自覚して、協力及び責任ある行動をする。④創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける									
【知識及び技能等】		・ルールや知識を身に付ける。・技能向上・記録更新を目指す。・体力の向上を目指す。							
【思考力・判断力・表現力等】		・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。							
【主体的に学習に取り組む態度】		・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。							
【A：知識及び技能】		【B：思考力、判断力、表現力等】		【C：学びに向かう力、人間性等】					
・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。		・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる		・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。					
1 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動		陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。		○	○	○	4
	単元名・・・バレーボール・ソフトボール Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム ◎ソフトボー ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎		バレーボール ソフトボール 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。		○	○	○	11
	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導		水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。		○	○	○	3

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
2 学 期	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・ソフトボール・バスケットボール・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	ソフトボール・バスケットボール・バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	20
	単元名・・・陸上 ・自己の体力向上を目指す ・自己のベストタイムに挑戦する ・生涯体育への導入にする	◎陸上競技 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
3 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入に	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	8
	単元名・・・サッカー Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎サッカー ・パス、ドリブル、シューティング、 ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム	サッカー 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	5
	体育理論 Aスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 Bスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 Cスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 ・教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 ICT 機器を活用した調べ学習	【知識・技能】AできたBややできたCできてない スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科保健体育 科目保健

教科保健体育 科目保健 単位数 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科（現代高等学校保健体育）

教科保健体育の目標：

- 【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目保健の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時
1 学 期	単元 ライフステージと健康 【知識及び技能】 ライフステージと健康について理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 各ライフステージで活用できる社会からの支援について思考し、表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージと健康について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ライフステージと健康について理解できている 【思考力、判断力、表現力等】 各ライフステージで活用できる社会からの支援について思考し、表現できる 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージと健康について積極的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
	単元 思春期と健康 【知識及び技能】 思春期と健康について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 思春期の心の発達に関わって起こる問題について思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 思春期と健康について積極的に学んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 思春期と健康について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 思春期の心の発達に関わって起こる問題について思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 思春期と健康について積極的に学ぼうとしている	○	○	○	2
	単元 性意識と性行動の選択 【知識及び技能】 性意識の男女差について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを考え、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 性意識や性行動について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 性意識の男女差について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを考え、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 性意識や性行動について積極的に学習に取り組んでいる	○	○	○	2
	単元 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 妊娠・出産の過程における健康課題について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて思考し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 妊娠・出産の過程における健康課題について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 妊娠・出産と健康について意欲的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
	単元 避妊法と人工妊娠中絶 【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 がんの治療法について積極的に学ぼうとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 家族計画の意義と適切な避妊法について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 がんの治療法について積極的に学ぼうとしている	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

2 学期	研究発表 【知識及び技能】 様々な健康に関する要因や事象について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自身が調べまとめた研究内容を他者に分かりやすく表現する 【学びに向かう力、人間性等】 研究発表に向けての準備を意欲的に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 自身で決めたテーマに関する知識をまとめることができる 【思考力、判断力、表現力等】 自身が調べまとめた研究内容を工夫をし、他者に分かりやすく表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 研究発表に向けての準備を意欲的に取り組んでいる 他者の研究発表について意欲的に学ぼうとしている	○	○	○	7
	単元 結婚生活と健康 【知識及び技能】 心身の発達と結婚生活の関係について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 結婚生活と健康について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 心身の発達と結婚生活の関係について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 結婚生活と健康について積極的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
	単元 中高年期と健康 【知識及び技能】 加齢にともなう心身の変化について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会に必要な社会的な取り組みについて思考し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 中高年期と健康について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 加齢にともなう心身の変化について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会に必要な社会的な取り組みについて思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 中高年期と健康について積極的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
3 学期	単元 働くことと健康 【知識及び技能】 働くことの意義と健康とのかわりについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 働き方や働く人の健康問題の変化について思考し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 働くことと健康について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 働くことの意義と健康とのかわりについて理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 働き方や働く人の健康問題の変化について思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 働くことと健康について積極的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
	単元 労働災害と健康 【知識及び技能】 労働災害の種類とその要因について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 労働災害を防止するために必要なことを思考・判断し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 労働災害と健康について意欲的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 労働災害の種類とその要因について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 労働災害を防止するために必要なことを思考・判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 労働災害と健康について意欲的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
	単元 健康的な職業選択 【知識及び技能】 職場が行う健康に関する取り組みについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 余暇を積極的に取ることの意義を思考し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 健康的な職業選択について積極的に学習に取り組んでいる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 職場が行う健康に関する取り組みについて理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 余暇を積極的に取ることの意義を思考し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 健康的な職業選択について積極的に学習に取り組もうとしている	○	○	○	2
学年末考查							1
合計							27

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 科目 年間授業計画

教 科：保健体育科目：体育 単位数：3単位

対象学年組：第3学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

使用教材：（各種ボール、シャトル、タイマー、ラケット、ディスク等）

教科の目標：①基礎的体力と運動技能の向上を図る。②健康・安全についての理解を深める。③集団における自己の役割を自覚して、協力及び責任ある行動をする。④創意工夫や努力をし、自主的・主体的に運営する能力を身につけ、生涯に亘ってスポーツを親しむ態度を身につける

- 【知識及び技能等】
- 【思考力・判断力・表現力等】
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- ・ルールや知識を身に付ける。・技能向上・記録更新を目指す。・体力の向上を目指す。
- ・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる。
- ・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

【A：知識及び技能】	【B：思考力、判断力、表現力等】	【C：学びに向かう力、人間性等】
・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。	・自己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる	・主体的に運動に取り組み、運動の楽しさや喜びを体得させる。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	単元名・・・陸上競技 A運動の特性を理解し、自己の体力向上を目指す B自己のベストタイムに挑戦する C他者と協力し生涯体育への導入にする	◎陸上競技、体づくり運動 ・短距離走 ・持久走 ・体力向上のための運動	陸上競技 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・トレーニングの種類や練習方法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	6
	単元名・・・バレーボール・ソフトボール Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バレーボール ・パス、レシーブ、スパイク、ブロック ・簡易ゲーム ◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎	バレーボール ソフトボール 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	11
	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
2 学 期	単元名・・・水泳 A水難事故を防ぐ知識を身に付けさせる B各種泳法を身に付け安全に泳ぐことができる C他者と協力し救助活動の仕方を身に付けている。	◎水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎの泳法指導 ・安全に速く泳ぐ、長く泳ぐ技術指導	水泳 評価方法：記録計測、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・安全に泳ぐ知識・泳法を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に水泳の楽しさや泳ぐ喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	3
	単元名・・・ソフトボール・バスケットボール・バドミントン・アルティメット・卓球 Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎ソフトボール ・キャッチボール ・ピッチング ・バッティングの基礎 ◎バスケットボール ・パス、ドリブル、シューティング、ドリブルシュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム ◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド）オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブクリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム ◎アルティメット ・パス練習 ・簡易ゲーム ◎卓球 ・サーブ、各打ち方（突き、カット等）の練習 ・ゲーム	ソフトボール・バスケットボール・バドミントン・アルティメット・卓球 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	27
	単元名・・・ダンス ・感情を込めて踊ったり、仲間と自由に踊る楽しさや喜びを味わうことができる ・特有の表現や踊りを高めて、交流や発表ができる	◎ダンス ・様々な種類のダンスやステップ（ヒップホップ、ブレイク、創作等） ・発表	ダンス 評価方法：発表、参加態度・意欲 【知識】 ：AできたBややできたCできなかった ・簡単な動きを作り、イメージを持ったひと流れの動きができる。 ・イメージ課題を手がかりにして、創り出した動き 【思考】 ：AできたBややできたCできなかった ・テーマにそって、表現を深めながら作品作りができる。 【学びに向かう力】 ：AできたBややできたCできなかった ・発表会に向けてプログラムや演出の工夫などができる。	○	○	○	6

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
3 学 期	単元名・・・ダンス ・感情を込めて踊ったり、仲間と自由に踊る楽しさや喜びを味わうことができる ・特有の表現や踊りを高めて、交流や発表ができる	◎ダンス ・様々な種類のダンスやステップ（ヒップホップ、ブレイク、創作等） ・発表	ダンス 評価方法：発表、参加態度・意欲 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・簡単な動きを作り、イメージを持ったひと流れの動きができる。 ・イメージ課題を手がかりにして、創り出した動き 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・テーマにそって、表現を深めながら作品作りができる。 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・発表会に向けてプログラムや演出の工夫などができる。	○	○	○	3
	単元名・・・バドミントン Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎バドミントン ・ストローク（フォアハンド、バックハンド） オーバー・サイド・アンダーストローク ・ショット（ハイクリアー、クリアー、ドライブ クリアー、ドロップ、スマッシュ） ・簡易ゲーム	バドミントン 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	12
	単元名・・・サッカー Aルールを理解しプレーができる B基礎基本のプレーをマスターしチームプレーに参加できる C他者と協力しチームプレーを楽しむことができる	◎サッカー ・パス、ドリブル、シュート、ランニングシュート ・簡易ゲーム	サッカー 評価方法：実技試験、ゲーム観察 【知識】：AできたBややできたCできなかった ・ルールや知識を身に付ける。 ・技能向上・記録更新を目指す。 ・体力の向上を目指す。 【思考】：AできたBややできたCできなかった ・己の能力に応じた運動の課題設定ができる。 ・運動の仕方を考え、工夫し活動ができる 【学びに向かう力】：AできたBややできたCできなかった ・主体的に運動を行い楽しさや喜びを体得する。 ・生涯体育を目指し、他者と協力して運動に親しむ資質や能力を育てる。	○	○	○	4
	体育理論 Aスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解することができる。 Bスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 Cスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。	・指導事項 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 ・教材 教科書・保健ノート ・一人1台端末の活用 等 機器を活用した調べ学習	ICT 【知識・技能】AできたBややできたCできてない スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

東京都立橋高等学校 令和6年度（2学年用）年間授業計画
 教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ F 組
 教科担当者：

教科の目標：

【学びに向かう力、人間性等】英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。自学自習の態度を養う。

科目 0 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や、基礎的な語彙・表現・文法に対する理解を深める。その知識を活用し、簡単な意思疎通ができる。	易しい英語で書かれた日常的・社会的な話題について、文法的背景や、概要・要点を理解する。これらを活用して、簡単な英語で表現・伝達ができる。	既知の単語・表現を使い、積極的に英語を使うという姿勢を養う。自主的に学習する姿勢を養う。

[illegible]

年間授業計画 様式例

東京都立橋高等学校 令和6年度 外国語科 英語コミュニケーションⅡ 年間授業計画

教 科： 外国語科 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ ALL Aboard!Ⅱ（東京書籍） ）

教科 外国語科 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や、基礎的な語・表現・文法に対する理解を深める。その知識を活用し、簡単な意思疎通ができる。	平易な英語で書かれた日常的な話題や社会的な話題について、文化的背景や、概要・要点を理解する。これらを活用して、簡単な英語で表現したり伝えることができる。	知っている単語、表現を使って積極的に英語を使おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	単元名：Lesson 6 Seeds for Future Generations 【知識】 動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。 【思考】 伝統野菜について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合っている。 【態度】 伝統野菜について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合おうとしている。	【題材内容】 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通じて、伝統の継続について考える。 【言語材料】 動詞の目的語になるif節	○	○	○	○	○	【知識】 考查・小テスト 【思考】 考查・ノート記述・インタビューテスト 【態度】 提出物	○	○	○	8
	単元名：Lesson 7 Over the Wall 【知識】 関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。 【思考】 世界中で壁画を描く活動について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合っている。 【態度】 世界中で壁画を描く活動について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合おうとしている。	【題材内容】 世界中で壁画を描く活動についての話を通じて、世界の人々と交流する方法について学習する。 【言語材料】 関係副詞where, when	○	○	○	○	○	【知識】 考查・小テスト 【思考】 考查・ノート記述・インタビューテスト 【態度】 提出物	○	○	○	9
	定期考查								○	○		
2 学 期	単元名：Lesson 8 Inspiration from Nature 【知識】 知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。 【思考】 生物模倣についてのオンライン講演の授業について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合っている。 【態度】 生物模倣についてのオンライン講演の授業について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合おうとしている。	【題材内容】 生物模倣についてのオンライン講演の授業を通じて、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。 【言語材料】 知覚動詞	○	○	○	○	○	【知識】 考查・小テスト 【思考】 考查・ノート記述・インタビューテスト 【態度】 提出物	○	○	○	10
	単元名：Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 【知識】 使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。 【思考】 チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合っている。 【態度】 チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合おうとしている。	【題材内容】 チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通じて、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について学習する。 【言語材料】 使役動詞	○	○	○	○	○	【知識】 考查・小テスト 【思考】 考查・ノート記述・インタビューテスト 【態度】 提出物	○	○	○	13
	定期考查								○	○		
3 学 期	単元名：Lesson 10 Fighting Aging 【知識】 分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。 【思考】 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合っている。 【態度】 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について書かれた文章について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、相手と考えや情報などを話したり書いて伝え合おうとしている。	【題材内容】 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習する。 【言語材料】 分詞構文	○	○	○	○	○	【知識】 考查・小テスト 【思考】 考查・ノート記述 【態度】 提出物	○	○	○	7
	定期考查								○	○		

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 家庭 科目 家庭基礎 年間授業計画

教科： 家庭 科 科目： 家庭基礎 単位数： 2単位
対象学年組： 第2学年A組～F組
教科担当者：

使用教科書：（ 図説 家庭基礎 ）
使用教材：（ ）
教科の目標：
【知識及び技能等】（生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。）
【思考力・判断力・表現力等】（生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。）
【主体的に学習に取り組む態度】（自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。）
科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解している。	生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決しようとしている。	自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	態度	配当 時数
1 学期	単元名・・・青年期の自立と家族 【知識】：青年期の課題を理解している。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	青年期の生き方について自立の観点から学習する。 家族の形態や世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題について考える。 家族に関する法律を知り、その理念や現在の動きについて学習する。	【知識】：小テスト、作品製作 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	8
	単元名・・・子どもの生活と保育 【知識】：乳幼児に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	妊娠の成立から誕生までを理解し、その重要さを理解する。 子どもの発達について、学習する。 子どもの生活習慣と健康について、理解する。	【知識】：小テスト、作品製作 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	8
	単元名・・・衣生活と健康 【知識】：衣服の機能と着装について理解している。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：衣生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	衣服素材の種類と特徴について学習する。 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学習する。 被服製作実習を通して技術を身に付ける。	【知識】：小テスト、作品製作 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学期	単元名・・・衣生活と健康 【知識】：衣服の機能と着装について理解している。 【思考】：課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：衣生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	衣服素材の種類と特徴について学習する。 洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学習する。 被服製作実習を通して技術を身に付ける。	【知識】：小テスト、作品製作 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	6
	単元名・・・食生活と健康 【知識】：自分の食生活の管理に必要な技能を身に付けている。 【思考】：食生活の課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：食生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	食生活と健康の関係について学習する。 5大栄養素の特徴について理解し、からだとのつながりについて考える。 食中毒の種類や予防法を理解する。 食事摂取基準を理解し、何をどれくらい食べるのか理解する。 調理実習	【知識】：小テスト、実習 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
3 学期	単元名・・・生活における経済計画 【知識】：家計管理について理解している。 【思考】：生活の課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	家計の構成（収入・支出）を学習する。 生涯を見通した経済計画と管理について学習する。	【知識】：小テスト、作品製作 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	4
	単元名・・・消費行動と意思決定 【知識】：消費生活の現状と課題について理解している。 【思考】：生活の課題を解決する力を身に付けている。 【態度】：生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	契約や主体的な消費行動について学習する。 たような販売方法や問題商法について、対処法等を理解する。 多様化する支払い方法や多重債務について、対処法等を理解する。	【知識】：小テスト、作品製作 【思考】：定期考査 【態度】：ワークシート、レポート	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 ものづくり 科目 産業技術基礎

教科：ものづくり 科目：産業技術基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：（A～F組：）

使用教科書：（自校作成テキスト及び資料）

教科 ものづくり の目標：

【知識及び技能】ものづくり分野における知識と基礎技術を習得し、それを活用する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】ものづくり分野における知識と基礎技術を活用し、自ら作品を企画・制作する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】ものづくり分野における社会の共通課題を見出し、他者と協働して課題解決を図る姿勢・能力を養う。

科目 産業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ものづくりの基礎的な知識と技術を身につけ、技術を適切に処理する技術を身につけている。	ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	産業界が求めている複合的な視野を持った人材を育成する。 ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	【知識】：レーザー加工／金属加工の技法 陶芸／ガラスの技法 クラフト／染織の技法 基礎デザインの技法 製図／電気電子工作の技法 木工の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度 ①レーザー加工／金属加工 ②陶芸／ガラス ③クラフト／染織 ④基礎デザイン ⑤製図／電気電子工作 ⑥木工基礎	指導事項 実習の心構えと安全指導 ①レーザー加工機の安全指導と取り扱い レーザー加工機におけるキーホルダーの製作 切削加工機の安全指導と取り扱い 切削加工機による文鏡の製作 ②手捻りによる小作品製作 バーナーワークによるトンボ玉の製作 ③材料の性質について 材料と工具の取り扱い方について理解する。 鋳によるスプーン製作 不織布とステンシルシートによる染織製作 ④色彩の基礎、平面デザイン イラストレータを使った平面構成 ⑤製図、文字について学習させる 三角法について学習させる。 等角投影図および展開図について学習させる。 回路設計と電子部品について学習させる。 ⑥鋳・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「矩巻き」と鋳の使い方を、横引き鋳の練習を通して理解させる。 鋳敷きの加工・仕上げを通して、鋳・鑿・鉋の技能習得を目指す。	【知識・技能】 ものづくりの基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりに関する主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	36
2 学 期	【知識】：レーザー加工／金属加工の技法 陶芸／ガラスの技法 クラフト／染織の技法 基礎デザインの技法 製図／電気電子工作の技法 木工の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度 ①レーザー加工／金属加工 ②陶芸／ガラス ③クラフト／染織 ④基礎デザイン ⑤製図／電気電子工作 ⑥木工基礎	指導事項 実習の心構えと安全指導 ①レーザー加工機の安全指導と取り扱い レーザー加工機におけるキーホルダーの製作 切削加工機の安全指導と取り扱い 切削加工機による文鏡の製作 ②手捻りによる小作品製作 バーナーワークによるトンボ玉の製作 ③材料の性質について 材料と工具の取り扱い方について理解する。 鋳によるスプーン製作 不織布とステンシルシートによる染織製作 ④色彩の基礎、平面デザイン イラストレータを使った平面構成 ⑤製図、文字について学習させる 三角法について学習させる。 等角投影図および展開図について学習させる。 回路設計と電子部品について学習させる。 ⑥鋳・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「矩巻き」と鋳の使い方を、横引き鋳の練習を通して理解させる。 鋳敷きの加工・仕上げを通して、鋳・鑿・鉋の技能習得を目指す。	【知識・技能】 ものづくりの基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりに関する主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	39
3 学 期	【知識】：レーザー加工／金属加工の技法 陶芸／ガラスの技法 クラフト／染織の技法 基礎デザインの技法 製図／電気電子工作の技法 木工の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度 ①レーザー加工／金属加工 ②陶芸／ガラス ③クラフト／染織 ④基礎デザイン ⑤製図／電気電子工作 ⑥木工基礎	指導事項 実習の心構えと安全指導 ①レーザー加工機の安全指導と取り扱い レーザー加工機におけるキーホルダーの製作 切削加工機の安全指導と取り扱い 切削加工機による文鏡の製作 ②手捻りによる小作品製作 バーナーワークによるトンボ玉の製作 ③材料の性質について 材料と工具の取り扱い方について理解する。 鋳によるスプーン製作 不織布とステンシルシートによる染織製作 ④色彩の基礎、平面デザイン イラストレータを使った平面構成 ⑤製図、文字について学習させる 三角法について学習させる。 等角投影図および展開図について学習させる。 回路設計と電子部品について学習させる。 ⑥鋳・さしがねの使い方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 墨付け「矩巻き」と鋳の使い方を、横引き鋳の練習を通して理解させる。 鋳敷きの加工・仕上げを通して、鋳・鑿・鉋の技能習得を目指す。	【知識・技能】 ものづくりの基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ものづくりの基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ものづくりに関する主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	30
							合計
							105

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 産業 科目 産業実習パッケージデザイン

教科：産業 科目：産業実習パッケージデザイン 単位数：3 単位
対象学年組：第2学年 A組～F組
教科担当者：
使用教科書：（自校作成テキスト及び資料）
教科 産業 の目標：

- 【知識及び技能】キャラメル型とアメリカンロック型のパッケージが正確にできたか
【思考力、判断力、表現力等】オリジナルのデザインができたか
【学びに向かう力、人間性等】主体的に学習に取り組んでいるか

科目 産業実習パッケージデザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
キャラメル型とアメリカンロック型のパッケージが正確にできたか	オリジナルのデザインができたか	主体的に学習に取り組んでいるか

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第一ローテーション ・パッケージデザインについて学習させる ・キャラメル型のパッケージの制作を学習させる ・授業の内容をレポートにまとめさせる	・パッケージの三大要素について理解させる ・キャラメル型を制作させる ・イラストレータの使い方を理解させる ・プロッターの使い方を理解させる ・授業の内容をレポートにまとめさせる	【知識・技能】 キャラメル型とアメリカンロック型のパッケージが正確にできたか 【思考・判断・表現】 オリジナルのデザインができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んでいるか	○	○	○	45
2 学 期	第二ローテーション ・アメリカンロック型のパッケージ制作を学習させる ・授業の内容をレポートにまとめさせる	・アメリカンロック型を制作させる ・イラストレータの使い方を理解させる ・プロッターの使い方を理解させる	【知識・技能】 キャラメル型とアメリカンロック型のパッケージが正確にできたか 【思考・判断・表現】 オリジナルのデザインができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んでいるか	○	○	○	30
3 学 期							
							合計 75

ものづくり 科目 産業実習「レーザー加工」

單位數： 3 單位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（なし）

教科 産業実習「レーザー加工」 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 ものづくり分野における知識と基礎技術を習得し、それを活用する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 ものづくり分野における知識と基礎技術を活用し、自ら作品を企画・制作する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 ものづくり分野における社会の共通課題を見出し、他者と協働して課題解決を図る姿勢・能力を養う。

科目 産業実習「レーザー加工」 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
レーザー加工の原理を理解し、使用ソフトの知識を深め、作品の制作に必要な基礎的な技術を習得する。	作品制作をする上で、使用ソフトの性能や特性を理解する。 制作の基礎的な技術を取得し、必要に応じた技法を選択して、作品として表現する。	レーザー加工技術が現代社会でどのような役割を果たしているか理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1) レーザー加工を用いた作品の製作 【知識及び技能】 授業の進め方やレーザー加工の基礎的な知識について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 授業の進め方やレーザー加工で使用するソフトの操作の基本について理解し、制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・授業の進め方 ・レーザー加工について ・基本的な製作方法について ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 授業の進め方やレーザー加工の基礎的な知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 授業の進め方やレーザー加工の基礎的な知識について理解し、制作に活かしている。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぶ姿勢を持ち、他の生徒と協働的な態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
	(2) レーザー加工を用いた作品の製作 【知識及び技能】 レーザー加工の基礎的な知識について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 授業の進め方やレーザー加工で使用するソフトの操作の基本について理解し、制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・レーザー加工について ・製作方法について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 レーザー加工の基礎的な知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 レーザー加工の基礎的な知識について理解し、制作に活かしている。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぶ姿勢を持ち、他の生徒と協働的な態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
	(3) レーザー加工を用いた作品の製作 【知識及び技能】 レーザー加工の基礎的な知識について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の紐や板の接着方法を理解し、制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・製作方法について ・作業工程のまとめ方 ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 レーザー加工の基礎的な知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の紐や板の接着方法を理解し、制作に活かす。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぶ姿勢を持ち、他の生徒と協働的な態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、前半ローテーションで上記（1）～（3）の実習を実施する。				
2 学 期	(4) レーザー加工を用いた作品の製作 【知識及び技能】 授業の進め方やレーザー加工の基礎的な知識について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 レーザー加工で使用するソフトの操作の基本について理解し、オリジナル作品の制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・授業の進め方 ・製作方法について ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 授業の進め方やレーザー加工の基礎的な知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 レーザー加工で使用するソフトの操作の基本について理解し、オリジナル作品の制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぶ姿勢を持ち、他の生徒と協働的な態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
	(5) レーザー加工を用いた作品の製作 【知識及び技能】 レーザー加工の基礎的な知識について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 レーザー加工で使用するソフトの操作の基本について理解し、オリジナル作品の制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・製作方法について ・作業工程のまとめ方 ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 授業の進め方やレーザー加工の基礎的な知識について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 レーザー加工で使用するソフトの操作の基本について理解し、オリジナル作品の制作に活かす。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学ぶ姿勢を持ち、他の生徒と協働的な態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。				
3 学 期			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。				

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 ものづくり 科目 産業実習「ロボット工作」

教 科： ものづくり 科 目： 産業実習「ロボット工作」 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（なし）

教科 産業実習「ロボット工作」 の目標：

【知識及び技能】ものづくり分野における知識と基礎技術を習得し、それを活用する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 ものづくり分野における知識と基礎技術を活用し、自ら作品を企画・制作する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 ものづくり分野における社会の共通課題を見出し、他者と協働して課題解決を図る姿勢・能力を養う。

科目 産業実習「ロボット工作」 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
プログラミングを理解し、使用ソフトの知識を深め、課題の解決に必要な基礎的な技術を習得する。	課題を解決する上で、各種センサがどのような動き・用途で使用されているかを考え、自らが課題の解決をできる力をつける。	プログラミング・センサの技術が現代社会でどのような役割を果たしているか理解を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1) L E G Oマインドストームの組立て・各種センサの動作確認 【知識及び技能】 プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの製造方法を理解し部品・センサの使用方を習得し、ロボットを製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・プログラミングについて ・ロボットの製作方法 ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの製造方法を理解し部品・センサの使用方を習得し、ロボットを製造することができる。 実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
	(2) E V 3プログラミングを使ったプログラミング作成 【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、ロボットを制御することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・E V 3プログラミングについて ・E V 3プログラミングの利用方法 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、ロボットを制御することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
	(3) E V 3プログラミングを使った課題走行 【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、課題のコースを時間内に完走することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・E V 3プログラミングの復習 ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、課題のコースを時間内に完走することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、前半ローテーションで上記（1）～（3）の実習を実施する。				
2 学 期	(4) E V 3プログラミングを使った課題走行 【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、課題のコースを完走することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・E V 3プログラミングの復習 ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、課題のコースを完走することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
	(5) E V 3プログラミングを使った課題走行 【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、課題のコースを完走することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・E V 3プログラミングの復習 ・報告書の作成について 教材 ・自作プリント	【知識及び技能】 E V 3プログラミングについて理解し、その手順に従った操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ブロック型ロボットの制御方法と各種センサの用途を理解し、課題のコースを完走することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。				
			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。				
3 学 期			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。				

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 ものづくり 科目 産業実習「食品加工」

教 科： ものづくり 科 目： 産業実習「食品加工」 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 自作テキスト ）

教科 ものづくり の目標：

【知 識 及 び 技 能】ものづくり分野における知識と基礎技術を習得し、それを活用する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】ものづくり分野における知識と基礎技術を活用し、自ら作品を企画・制作する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】ものづくり分野における社会の共通課題を見出し、他者と協働して課題解決を図る姿勢・能力を養う。

科目 産業実習「食品加工」 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高度情報化社会や環境課題を抱える現代社会において、生活を安全に豊かにするための食品に係る基礎知識・技能を習得し、さらにそれを自らの技能として発展させて、食品に関する課題解決を自ら図る力をつける。	複雑化する環境、食品にまつわる社会的問題を認識し、食品に関する科学的な考察に資する思考力・判断力・表現力を身につけ、それを活かして自ら課題解決を図ることができる。	食品環境問題、食品に係る社会的な課題を主体的に解決しようとする姿勢および、科学的な考察に意欲的に取り組む個性を醸成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	〔1〕食品衛生とカップケーキの製造 【知識及び技能】 食品衛生について理解し、その手順に従った行動ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 カップケーキの製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質のカップケーキを製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・食品衛生について ・カップケーキの製造方法 ・報告書の作成について 教材 ・自作テキスト	【知識及び技能】 食品衛生手順に従った、安全手順を履行することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した製造方法、器具・装置の使用方法を実践し、一定の品質のカップケーキを製造することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
	〔2〕ベーグルパンの製造 【知識及び技能】 ベーグルパンの製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質のベーグルパンを製造することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベーグルパンの製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質のベーグルパンを製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・ベーグルパンの製造方法 ・パン生地の調製方法 ・適切な器具の使用方法 教材 ・自作テキスト	【知識及び技能】 ベーグルパンの製造方法に関する基本事項を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した製造方法、器具・装置の使用方法を実践し、一定の品質のベーグルパンを製造することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
	〔3〕バターロールの製造 【知識及び技能】 バターロールの製造方法に関する基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 バターロールの製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質のバターロールを製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。 焼菓子の特性、材料の性質・品質を理解し、適切な製造方法に関する知識・技能を習得する。	指導事項 ・バターロールの製造方法 ・器具の適切な使用方法 ・装置の適切な使用方法 ・報告書の作成について 教材 ・自作テキスト	【知識及び技能】 バターロールの製造方法に関する基本事項を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した製造方法、器具・装置の使用方法を実践し、一定の品質のベーグルパンを製造することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
				産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、前半ローテーションで上記（1）～（3）の実習を実施する。			
2 学 期	〔4〕ミートソースの製造 【知識及び技能】 ミートソースの製造方法に関する基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ミートソースの製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質の製品を製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。 焼菓子の特性、材料の性質・品質を理解し、適切な製造方法に関する知識・技能を習得する。	指導事項 ・ミートソースの製造方法 ・器具の適切な使用方法 ・装置の適切な使用方法 ・報告書の作成について 教材 ・自作テキスト	【知識及び技能】 ミートソースの製造方法に関する基本事項を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した製造方法、器具・装置の使用方法を実践し、一定の品質の製品を製造することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
	〔5〕ピザまんの製造方法 【知識及び技能】 ピザまんの製造方法に関する基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ピザまんの製造方法を理解し、器具・装置の使用方法を習得し、一定の品質の製品を製造することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む。	指導事項 ・ピザまんの製造方法 ・器具の適切な使用方法 ・装置の適切な使用方法 ・報告書の作成について 教材 ・自作テキスト	【知識及び技能】 ピザまんの製造方法に関する基本事項を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した製造方法、器具・装置の使用方法を実践し、一定の品質の製品を製造することができる。実習結果を適切に報告書にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自発的に学ぶ姿勢を持ち、主体的・協働的に学習に取り組む態度がある。	○	○	○	3
				産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。			
3 学 期			産業実習ものづくり系の生徒（5班構成）に対して、後半ローテーションで上記（4）～（5）の実習を実施する。				

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 ものづくり 科目 産業実習「彫金」

教科：ものづくり 科目：産業実習「彫金」 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～F組

教科担当者：

使用教科書：（なし）

教科 ものづくり の目標：

【知識及び技能】ものづくり分野における知識と基礎技術を習得し、それを活用する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】ものづくり分野における知識と基礎技術を活用し、自ら作品を企画・制作する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】ものづくり分野における社会の共通課題を見出し、他者と協働して課題解決を図る姿勢・能力を養う。

科目 産業実習「彫金」 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
彫金の基礎的な知識と技術を身につけ、技術を適切に処理する技術を身につけている。	彫金の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	彫金の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名：鍔目リングの製作 【知識】：彫金の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度	指導事項 ・リングサイズの計測 ・焼き鈍し ・圧延ローラーによる厚さ調整 ・糸鋸による長さ調整 ・接合部分の調整 ・新円調整 ・ロウ付け ・テクスチャー及びサイズ調整 ・研磨	【知識・技能】 彫金の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 彫金の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 彫金について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	36
2 学 期	単元名：鍔目リングの製作 【知識】：彫金の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度	指導事項 ・リングサイズの計測 ・焼き鈍し ・圧延ローラーによる厚さ調整 ・糸鋸による長さ調整 ・接合部分の調整 ・新円調整 ・ロウ付け ・テクスチャー及びサイズ調整 ・研磨	【知識・技能】 彫金の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 彫金の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 彫金について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	20
	単元名：チャームの製作 【知識】：彫金の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度	指導事項 ・ラフデザイン ・焼き鈍し ・切削加工 ・研磨	【知識・技能】 彫金の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 彫金の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 彫金について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	
3 学 期	単元名：チャームの製作 【知識】：彫金の技法 【思考】：道具の知識・使用方法 【態度】：積極的に学ぶ態度	指導事項 ・ラフデザイン ・焼き鈍し ・切削加工 ・研磨	【知識・技能】 彫金の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 彫金の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 彫金について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	30
							合計
							105

東京都立橋高等学校令和6年度 ものづくり 産業実習 染め 年間授業計画

教科：産業実習 単位数： 2単位 （科目： 染め）

対象学年組：（第2学年A組～F組）

教科担当者：

使用教科書：なし

使用教材：なし

教科の目標：型染め糊防染技法を習得し、販売までを想定したオリジナルデザインの手拭いを制作する。

【知識及び技能等】（糊防染技法や道具の取り扱い、型染めの型紙制作法について理解している）

【思考力・判断力・表現力等】（アイデアスケッチを型染めの型紙に反映出来る）

【主体的に学習に取り組む態度】（型紙制作は各自が独自に取り組み、染め工程では各班が協力して取り組んでいる）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
型紙制作と糊防染技法技法について理解し、品質の高い手拭を染める事が出来る。	購買者を意識したオリジナルデザインを基に制作した型紙を考案する事が出来る。作業後に技術向上を目指した考察を記録出来る。	自身の型紙制作だけでなく、染め工程で作業班全体で協力し制作している。作品完成後も知識確認テストと作業記録内容を充実させるべく学習している。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
4 ～ 9 月 （ 前 期 ）	型染めについて 【知識】1学年で習得した型紙制作の知識を用いて、ラフスケッチを型紙に起こすためのルールを理解している。 【思考】他者に伝わる動物形態をデザインとして推敲することが出来る。 【態度】指摘された点の意味を考えながらデザインを行っている。	スレン染料・建て染め・糊防染とは何かを学ぶ	【知識】ワークシート 【思考】実習記録・作品 【態度】型紙制作進度・実習記録・作品	○	○	○	12
	型紙制作について 【知識】型紙制作の留意点や、道具の扱い方を理解している。 【思考】染めやすく長持ちする型紙になるよう工夫している。 【態度】指導された点について自分なりに考察し、実現可能な型紙制作を行っている。	型染め技法のルールに沿って独自のデザインを推敲させる 道具の扱い方について理解する（カッターの安全な使用法）	【知識】ワークシート 【思考】実習記録・作品 【態度】型紙制作進度・実習記録・作品	○	○	○	12
	スレン染料による糊防染について 【知識】糊防染による建て染めの留意点、道具の扱い方を理解し、班員同士協力し合って 【思考】染めやすく長持ちする型紙になるよう工夫している。 【態度】指導された点について自分なりに考察し、実現可能な型紙制作を行っている。	スレン染料・型染めについて理解を深める 建て染め工程を習得する	【知識】：ワークシート・テスト 【思考】：ワークシート・作品 【態度】：班ごとの協力体制	○	○	○	12
				○	○	○	
9 ～ 3 月 （ 後 期 ）	江戸小紋について 【知識】1学期で習得した型紙制作の知識を用いて、より小さな文様を連続させ配置する 【思考】他者に伝わる動物形態をデザインとして推敲することが出来る。 【態度】指摘された点の意味を考えながらデザインを行っている。	小紋の現代的デザインを考案する・連続文様のデザイン工程の一つを理解する	【知識】ワークシート 【思考】実習記録・作品 【態度】型紙制作進度・実習記録・作品	○	○	○	12
	型紙制作について 【知識】前期に習得した型紙制作の留意点や、道具の扱い方を理解している。 【思考】彫りやすく効果的な配置を工夫して小紋柄をデザインしている。 【態度】指導された点について自分なりに考察し、実現可能な型紙制作を行っている。	前期の学習内容を踏まえ、規定時間内に終わるようデザインに推敲を加え、より精緻な小紋の連続文様型紙を彫る。同一手拭上に前期に制作した大紋と今期の小紋を配置して糊防染を行う。	【知識】ワークシート 【思考】実習記録・作品 【態度】型紙制作進度・実習記録・作品	○	○	○	12
	スレン染料による糊防染について 【知識】前期に習得した染め工程の留意点を踏まえ、より手際よく制作している。 【思考】染めやすく長持ちする型紙になるよう工夫している。 【態度】指導された点について自分なりに考察し、実現可能な型紙制作を行っている。	手拭い染めの技術向上を図る 自身のデザインについてプレゼンテーションを行う	【知識】：ワークシート・プレゼンテーション 【思考】：ワークシート・作品 【態度】：班ごとの協力体制	○	○	○	12
				○	○	○	

東京都立橋高等学校令和6年度 ものづくり 産業実習 陶芸 年間授業計画

教 科： 科 目： 産業実習 陶芸 単位数： 2単位

対象学年組：（第2学年A組～F組）

教科担当者：

使用教科書：なし

使用教材 ：なし

教科の目標：陶芸の基礎を理解し、表現できるようにする。

【知識及び技能等】（土練りの方法や道具の取り扱い、技法について理解している）

【思考力・判断力・表現力等】（アイデアスケッチをもとに、適切に表現している）

【主体的に学習に取り組む態度】（準備から片付けまで、授業全体で活動に取り組もうとしている）

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
土練りの方法や道具の取り扱い、技法について理解している	アイデアスケッチをもとに、適切に表現している	準備から片付けまで、授業全体で活動に取り組もうとしている

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学 期	土の練り方について 【知識】:土を練る目的や、やり方を理解している。 【思考】:どうしたらスキルアップできるのかを分析し、実践している。 【態度】:積極的に授業に参加し、次の作業を見据えた活動を行っている。	土練りとは何か？（荒練り、菊練り） 土練りの役割とは何か？（荒練り、菊練り）	【知識】:ワークシート・レポート・作品 【思考】:ワークシート・作品 【態度】:授業の取り組み方	○	○	○	3
	たたら成形について 【知識】作業の目的や、道具の扱い方を理解している。 【思考】::どうしたらスキルアップできるのかを分析し、実践している。 【態度】:積極的に授業に参加し、次の作業を見据えた活動を行っている。	たたら成形の技法の特徴について理解させる小皿のデザイン案を考えさせる 土練り（荒練り）のやり方と目的を理解させる 道具の扱い方について理解させる 工程の意図について理解させる	【知識】:ワークシート・レポート・作品 【思考】:ワークシート・作品 【態度】:授業の取り組み方	○	○	○	3
	絵付け・釉掛けについて 【知識】:釉薬をかける目的や方法を理解している。 【思考】:どうしたらスキルアップできるのかを分析し、実践している。 【態度】:積極的に授業に参加し、次の作業を見据えた活動を行っている。	絵付けについて理解を深める 釉掛けについて理解を深める	【知識】:ワークシート・レポート・作品 【思考】:ワークシート・作品 【態度】:授業の取り組み方	○	○	○	3
2 学 期	土の練り方について 【知識】:土を練る目的や、やり方を理解している。 【思考】:どうしたらスキルアップできるのかを分析し、実践している。 【態度】:積極的に授業に参加し、次の作業を見据えた活動を行っている。	土練りとは何か？（荒練り、菊練り） 土練りの役割とは何か？（荒練り、菊練り）	【知識】:ワークシート・レポート・作品 【思考】:ワークシート・作品 【態度】:授業の取り組み方	○	○	○	3
	たたら成形について 【知識】作業の目的や、道具の扱い方を理解している。 【思考】::どうしたらスキルアップできるのかを分析し、実践している。 【態度】:積極的に授業に参加し、次の作業を見据えた活動を行っている。	たたら成形の技法の特徴について理解させる蓋付き小物入れのデザイン案を考えさせる 土練り（荒練り）のやり方と目的を理解させる 道具の扱い方について理解させる 工程の意図について理解させる	【知識】:ワークシート・レポート・作品 【思考】:ワークシート・作品 【態度】:授業の取り組み方	○	○	○	3
	絵付け・釉掛けについて 【知識】:釉薬をかける目的や方法を理解している。 【思考】:どうしたらスキルアップできるのかを分析し、実践している。 【態度】:積極的に授業に参加し、次の作業を見据えた活動を行っている。	絵付けについて理解を深める 釉掛けについて理解を深める	【知識】:ワークシート・レポート・作品 【思考】:ワークシート・作品 【態度】:授業の取り組み方	○	○	○	3
3 学 期							

|

単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 産業(ものづくり)科 科目 産業実習(ガラス工芸)

教科: 産業(ものづくり)科 科目: 産業実習(ガラス工芸) 単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 A組～ F組

教科担当者:

使用教科書: (なし)

教科 産業(ものづくり)科 の目標:

【知識及び技能】ものづくりに関する基礎的な知識と技術を身につけ、それらを取り扱う技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】ものづくりに関する基礎的な特質について思考・判断し、その活用方法を表現す

【学びに向かう力、人間性等】ものづくりに関する基礎的な知識を主体的に身に付け、その活用を意欲的に取り組む態度を身に付ける。

科目 産業実習(ガラス工芸) の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ガラス工芸(とんぼ玉)の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。	ガラス工芸の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	ガラス工芸について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元名・・・とんぼ玉 無地、花、ガラスフリット、溝 【知識】: とんぼ玉の技法 【思考】: 道具の知識・使用方法 【態度】: 積極的に学ぶ態度	とんぼ玉の作り方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 無地、花、ガラスフリット、溝の技法を実際の制作を通して理解させる。	【知識・技能】 ガラス工芸(とんぼ玉 無地、花、ガラスフリット、溝)の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ガラス工芸(とんぼ玉 無地、花、ガラスフリット、溝)の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ガラス工芸(とんぼ玉 無地、花、ガラスフリット、溝)について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	19
	単元名・・・とんぼ玉 ねじり模様 【知識】: とんぼ玉の技法 【思考】: 道具の知識・使用方法 【態度】: 積極的に学ぶ態度	とんぼ玉の作り方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 ねじり棒の技法を実際の制作を通して理解させる。	【知識・技能】 ガラス工芸(とんぼ玉 ねじり模様)の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ガラス工芸(とんぼ玉 ねじり模様)の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ガラス工芸(とんぼ玉 ねじり模様)について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	18
2 学期	単元名・・・とんぼ玉 パーツ付け、引っかき 【知識】: とんぼ玉の技法 【思考】: 道具の知識・使用方法 【態度】: 積極的に学ぶ態度	とんぼ玉の作り方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 パーツ付け、引っかきの技法を実際の制作を通して理解させる。	【知識・技能】 ガラス工芸(とんぼ玉 パーツ付け、引っかき)の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ガラス工芸(とんぼ玉 パーツ付け、引っかき)の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ガラス工芸(とんぼ玉 パーツ付け、引っかき)について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	18
	単元名・・・とんぼ玉 水中花 【知識】: とんぼ玉の技法 【思考】: 道具の知識・使用方法 【態度】: 積極的に学ぶ態度	とんぼ玉の作り方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 水中花の技法を実際の制作を通して理解させる。	【知識・技能】 ガラス工芸(とんぼ玉 水中花)の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ガラス工芸(とんぼ玉 水中花)の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ガラス工芸(とんぼ玉 水中花)について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	18
3 学期	単元名・・・とんぼ玉 まとめ 【知識】: とんぼ玉の技法 【思考】: 道具の知識・使用方法 【態度】: 積極的に学ぶ態度	とんぼ玉の作り方・知識・使用方法の基礎を理解させる。 とんぼ玉の技法を実際の制作を通して理解させる。 イメージした模様を実際に作れるように技術の向上とともにガラスの性質を理解する。	【知識・技能】 ガラス工芸(とんぼ玉)の基礎的な知識と技術を身につけ、伝統技術を適切に処理する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ガラス工芸の基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ガラス工芸について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組み、積極的に学ぶ態度を身につけている。	○	○	○	32
							合計 105

高等学校 令和6年度（1学年）

産業科

科目 情報基礎Ⅰ

教科：産業科

科目：情報基礎Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：

使用副教材：（ 自校作成テキスト、日本語ワープロ検定試験模擬問題集、情報処理技能検定試験表計算模擧）

教科 産業科 の目標：

【知識及び技能】タイピング技術がある。文書作成能力がある。Excel関数が扱える。

【思考力、判断力、表現力等】タイピング技術がある。文書作成能力がある。Excel関数が扱える。

【学びに向かう力、人間性等】授業に向かう姿勢があるか。

科目 情報基礎Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
PCを道具のように扱うことができる	検定3級以上の資格を有している	授業に向かう態度、姿勢があるか

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「日本語ワープロ」 【知識及び技能】 日本語ワードプロセッサの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワードプロセッサの基本活用 【学びに向かう力、人間性等】	・教室の使い方と授業の進め方について理解し、授業へ主体的に参加する。 ・教具の扱い方について理解し、授業においての活用を促す。 ・文字入力システムと日本語ワードプロセッサの関わりについて理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	18
	日本語ワープロ検定	日本情報処理検定日本語ワープロ検定	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		2
2 学 期	A 単元「日本語ワープロ」 【知識及び技能】 日本語ワードプロセッサの基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 日本語ワードプロセッサの基本活用 【学びに向かう力、人間性等】	・文字入力システムと日本語ワードプロセッサの関わりについて理解する。 ・日本語ワードプロセッサの編集機能について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	日本語ワープロ検定	日本情報処理検定日本語ワープロ検定	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		2
	B 単元「表計算」 【知識及び技能】 表計算の基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 表計算の基本活用 【学びに向かう力、人間性等】	・表計算アプリケーションの使い方理解する。 ・表計算アプリケーションの関数機能について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	日本語ワープロ検定 表計算検定	日本情報処理検定日本語ワープロ検定 表計算検定	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		2
3 学 期	B 単元「表計算」 【知識及び技能】 表計算の基本操作 【思考力、判断力、表現力等】 表計算の基本活用 【学びに向かう力、人間性等】	・表計算アプリケーションの使い方理解する。 ・表計算アプリケーションの関数機能について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	日本語ワープロ検定 表計算検定	日本情報処理検定日本語ワープロ検定 表計算検定	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		2
							合計 56

高等学校 令和6年度（3学年）

産業科

科目 情報演習

教科：産業科

科目：情報演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用副教材：（ 自校作成テキスト ）

教科 産業科 の目標：

【知識及び技能】情報を科学する

【思考力、判断力、表現力等】パソコンを使って情報の伝え方を習得する

【学びに向かう力、人間性等】授業に向かう姿勢があるか。主体的に学び技術の習得に取り組む姿勢があるか。

科目 情報演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査で判断 授業内の課題の取り組み 課題を理解して自主的に取り組んでいるか	課題の取り組み、オリジナル性があるか ノートの提出、書き込み、オリジナル性があるか	授業に向かう態度、姿勢があるか 課題の取り組み状況 ノートの書き込み状況

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元「webページの成り立ち」 【知識及び技能】 WEBページを作成できる 【思考力、判断力、表現力等】 オリジナルのWEBページを作成できる HTMLの成り立ちを理解してる 【学びに向かう力、人間性等】	・教室の使い方と授業の進め方について理解し、授業へ主体的に参加する。 ・HTMLの成り立ちを理解する ・WEBページの作成編集機能について理解する。	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14
	B 単元「インターネットの仕組み」 【知識及び技能】 インターネットの仕組みを理解し、検索することができる 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットの閲覧ができ、正しい使い方ができる 定期考査	・URLの仕組みを理解する。 ・IPアドレスとドメインの繋がりを理解する ・	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		1
2 学 期	C 単元「プログラミングの基礎」 【知識及び技能】 プログラミングの基礎を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 プログラミングを自発的に考え、問題に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか	・アナログとデジタルの違いを理解する ・プログラムの基本を理解し、応用的に使える ・Python言語の特徴を理解し、簡単なプログラムを書くことができる	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	D 単元「商品流通の基礎」 【知識及び技能】 バーコードの仕組みを理解する QRコードの仕組みを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 QRコードの構造の名称を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 授業に向かう姿勢があるか 定期考査	・1次元バーコードの数字の意味を理解する ・1次元バーコードが世界統一規格である理解を深める ・2次元バーコードの歴史を理解し今後の発展を自分なりの意見をまとめられる	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14
	定期考査		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		1
3 学 期	E 単元「データベースの基礎」 【知識及び技能】 POSシステムを理解する データベースの基礎・基本を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 データベースの種類を理解し適した場所での利用が選択できる 定期考査	・POSシステムからデータベースの構図を理解する ・DBMSのについての特徴と利点を理解する ・RDBの基本を理解する	【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	11
	定期考査		【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】	○	○		1
							合計 60

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 情報

科 情報Ⅰ

教 科： 情報

科 目： 情報Ⅰ

単位数 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 図説 情報Ⅰ

）

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】

情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。

【思考力、判断力、表現力等】

事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

【学びに向かう力、人間性等】

情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

科目 情報Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・情報や情報メディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。 ・情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。	・情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 ・IoT、人工知能（AI）の意味とその活用について理解する ・情報の信憑性、信頼性の意味を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会における様々な問題点を理解した上で、情報モラルについて考え、自らの行動を振り返り、改善しようとする。	・情報や知識、IoT、人工知能（AI）について学ぶ。 ・情報化による利便性（情報化の「光」）と危険性（情報化の「影」）について学ぶ。 ・匿名性の特徴、ネットワーク上のルールとマナー、情報の受信者・発信者としてのモラルと責任について学ぶ。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	5
	B 単元 1 章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大切な情報を守るための暗号の利用など、情報セキュリティ技術に興味・関心をもって取り組んでいる。	・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 ・表計算ソフトによる情報を数値化したり、視覚化する方法について学ぶ。 ・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）について学ぶ。 ・知的財産権の概念（知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成）について学ぶ。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	C 単元 2 章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 ・メディアの機能と特性と分類について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するために、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組む。	・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 ・ネットワーク上のコミュニケーションのメリットとデメリット（即時性、利便性、保存性、匿名性）について学ぶ。 ・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。 ・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元 3 章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 ・アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ハードウェアとソフトウェアの学習に、興味・関心をもって取り組む。	・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴（情報の正確な再現・情報の容易な加工）について学ぶ。 ・コンピュータ内部での数値（2進数、16進数）の表現について学ぶ。 ・ハードウェアとソフトウェアの違い、コンピュータ本体の働き（五大装置）・OSとアプリケーションソフトの関係について学ぶ。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	12
	E 単元 4 章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 ・アルゴリズムの基本構造をフローチャートで作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造を利用した画像表示のプログラムを作成する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・例題や「並べ替え」、「じゃんけんゲーム」など作成したプログラムについて、自己評価および相互評価を行い、効率的なプログラムの改善に取り組む。	・アルゴリズムの基本構造（順次、選択、繰り返し）、プログラム構造について学ぶ。 ・プログラムにおける変数の役割について学ぶ。 ・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10

3 学 期	F 単元 5章モデル化とデータの活用 【知識及び技能】 ・モデル化の目的や手順，モデルの分類方法について理解する。 ・シミュレーションの手順や注意点，シミュレーションツールについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モデルの分類（表現形式による分類，対象による分類）に関し，身のまわりの具体的な事例で説明する。 ・シミュレーションの手順について，具体的な事例で説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決のためのデータの分析をする。 ・収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い，グラフ化などをする。	・モデル化とシミュレーションの手順や分類について学ぶ。 ・データの種類と，データの活用の手順や方法について学ぶ。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	10
	G 単元 5章モデル化とデータの活用 【知識及び技能】 ・インターネット通信の規約であるTCP/IPやパケットの流れについて理解している。 ・IPアドレス，ドメイン名，URL，DHCPサーバ，HTMLなどの意味や働きについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットのプロトコル（TCP/IP）について，各階層の役割について，電話などの例をあげて説明する。 ・データベースの活用事例やデータモデルの違いについて，身近な例をあげて説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・インターネット活用について，個人あるいはグループで調べるなどの学習活動を行い，問題の解決に取り組む。 ・安全に情報を送受信する仕組みの理解のもとに，情報セキュリティに対する対策を行い，改善を試みる。	・インターネットに接続するための機器と通信の規則について学ぶ。 ・Webページや電子メールの仕組みについて学ぶ。 ・生活に欠かせない情報システムについて学ぶ。 ・データベースの機能と役割・活用事例について学ぶ。 ・情報の安全を守るために，組織が行っている情報セキュリティ対策について学ぶ。	【知識】：考査・小テスト等 【思考】：考査・プリント等 【態度】：プリント・提出物・出欠等	○	○	○	9
							合計
							70

東京都立橘高等学校令和6年度 教科 科目 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組）

教科担当者：

使用教科書：（ 美術Ⅰ 光村図書 ）

使用教材：（ ）

教科の目標：

【知識及び技能等】（ 芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 ）

【思考力・判断力・表現力等】（ 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。 ）

【主体的に学習に取り組む態度】（ 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 ）

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、創造的な表現をするための技能を身につけるようにする。	美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。	主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	態度	配当 時数
1 学 期	単元名・・・美術の内容と鑑賞 【知識】:美術の分野の内容とその特質について理解する 【思考】:教科書の作品鑑賞を通して作家の心情や多様な表現について関心を深める。 【態度】:教科書の構成、内容について興味をもつ。	・教科書の構成と見方について ・絵画、彫刻、デザイン、映像メディアの特質と作品鑑賞 ・資料ページの紹介と活用について	【知識】：教科書の構成と内容について理解する 【思考】：作品の鑑賞を通して多様な表現と作家の心情について関心を深める 【態度】：美術の分野とその内容について興味を持つことができる	○	○	○	2
	単元名・・・鉛筆デッサン 【知識】:鉛筆デッサンの画材や表現方法を理解し、工夫しながら表現する。 【思考】:鉛筆デッサンのプロセスや表現方法の工夫について理解を深める。 【態度】:鉛筆デッサンに興味を持ち、粘り強く製作に取り組む。	・グラデーション作成（明暗の階調） ・想定デッサン（基本形態） ・自分のテを描く ・人物クロッキー	【知識】:鉛筆デッサンの作例を鑑賞し、基本的な用具の使い方や描き方を確認し、理解してい 【思考】:鉛筆デッサンの描く方法や表現の工夫などについて、見方や感じ方を深めながら描写できる。 【態度】:鉛筆デッサンに興味を持ち、材料の特性を工夫しながら取り組もうとしている。	○	○	○	16
	単元名・・・色彩の基礎 【知識】:色の仕組みや特徴について、図版と説明の学習を通して理解を深める。 【思考】:色の仕組みや特徴について考え、生活の中で活かせるように見方や感じ方を深める。 【態度】:色の性質に興味を持ち、混色演習に積極的に取り組む。	・色の三属性、色相環、補色 ・色の対比と同化 ・色のトーン分類と配色効果 ・色の混色（加法と減法） ・混色演習（三原色、明度、彩度段階）	【知識】:①色の仕組みや特徴について理解している。②色の混色を理解し、絵の具の混色によって目的の色を作ることができる。 【思考】:色の仕組みや特徴について考え、混色による色出しと着色ができる。 【態度】:色の性質に興味を持ち、混色演習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		
	単元名・・・文様のデザイン 【知識】:文様のデザインの種類と多様性を理解し、目的や計画をもとに創造的に表わす。 【思考】:色や形の組み合わせ、構成などの効果について考え、独創的な文様を制作する。 【態度】:主体的に文様デザインの造形活動に取り組む。	・世界の地域や文様の鑑賞 ・リピテーションの表現手法について ・リピテーションの手法をもとに文様のデザインを考案する。 ・形や色のアイデアと構成 ・配色技法と配色計画・色の混色と着色方法	【知識】:①世界の地域の文様のデザインの鑑賞を通してその種類と多様性を理解している。②リピテーションの手法を理解し、目的や計画をもとに制作できる。 【思考】:色や形を工夫して文様のデザインの造形活動に主体的に取り組もうとしている。 【態度】:色や形を工夫して文様のデザインの造形活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	単元名・・・公共ポスター制作 【知識】:ポスター制作のプロセスを理解し、目的や計画のもとに、着実に制作する。 【思考】:テーマの内容を伝えるための、効果的な図柄や文字の配置、構成、配色について考える。 【態度】:主体的に効果的なデザインを工夫し、表現活動に取り組む。	・ポスター広告、作品の鑑賞 ・テーマを探す ・テーマについて調査する ・キャッチコピーと図柄のアイデア ・書体のレタリング ・レイアウトと配色計画 ・本制作、下図制作～アクリルガッシュ着彩	【知識】:①ポスター作品の鑑賞を通して、メッセージを伝達するための効果的なデザインの役割を理解する。②目的や計画のもとに着実に制作できる。 【思考】:テーマの内容を伝えるための効果的な図柄や文字の配置、構成、配色について考え、独創的な表現ができる。 【態度】:わかりやすく効果的なデザインを工夫する。表現活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	定期考查			○	○		
3 学 期	単元名・・・自己をあらわす 【知識】:自己を表現した作品を鑑賞し、今の自分を見つめなおす 【思考】:自己に関する情報をまとめ、材料や表現方法を工夫して表わす。 【態度】:主体的に自分の興味や心情を表わすことができる。	・自己を表した教科書の図版や生徒作品を鑑賞する。 ・今の自分の興味の対象や心情について考える。 ・自分に関する考えをまとめ、表現方法の構想を探る。 ・本制作	【知識】:自己を表現した鑑賞を通して作家の表現と心情について理解する。 【思考】:自己に関する情報をまとめ、表現方法や表現材料を工夫して表している。 【態度】:自己を表わす表現活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元名・・・ユーモアのあるイラストレーション 【知識】:印刷媒体としてのイラストレーションの役割について理解する 【思考】:図柄が変化する簡単な仕上げからテーマに沿ったアイデアを具現化する。 【態度】:変化するイラストレーションに興味を持ち、主体的に制作できる。	・昨今のイラストレーターや生徒作品を鑑賞する。 ・変化するイラストについてアイデアのヒントの提示 ・イラストのテーマ、目的に沿ったアイデアスケッチ ・イラストカード本制作	【知識】:イラストレーションの表現や役割について理解する。 【思考】:図柄が変化するイラストのヒントをもとに、テーマや目的に沿った独創的な表現ができる。 【態度】:変化するイラストレーションに興味を持ち、アイデアから本制作まで意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

藝術

科目 音樂 1

教 科： 芸術

科目：音樂 1

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ MOUSA1

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】

音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解しているか

【思考力、判断力、表現力等】

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図を持っているか

【学びに向かう力、人間性等】

曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしているか

科目 音楽 1

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解しているか。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図を持っているか。	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協動的に取り組もうとしているか。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知	思	態	配 時 数
1 学 期	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 楽曲の特徴を理解し、曲にふさわしい発声で表現できるように ・内容 授業「Are Maria /『ゴースト・トレーニング』」 小笠原 文子 Lesson/展をくさい/負けないで/若者のすべて/風が吹くぞ/「歌謡曲からJ-POPへの100年」 「ルールを守って音楽を楽しもう！」	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	5	
	【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使用などに留意して演奏し、表現に必要な技術を身に付けること 【思考力、判断力、表現力等】 演奏したり五に聞き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや方法を試行錯誤しながら表現を工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 表現を工夫してリコーダーを演奏しよう ・内容 見上げてごらん夜の星を 天竺と組曲「a-i-e-u」 グザルランドにぞ 小笠原 文子	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使用などに留意して演奏し、表現に必要な技術を身に付けることができたか 演奏したり五に聞き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解することができたか 【思考・判断・表現】 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや方法を試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	8	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 「ソレ」進行をもとにメロディをつくらう ・内容 「ソレ」・「ソレ」 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	1	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう ・内容 音楽を聴く楽しささまざまな音楽 / 組曲「動物の楽園内」/ 交響曲第9番「合唱付」から第4楽章/ バレエ音楽「火の鳥」組曲 / 「西洋音楽の流」 / 「オーケストラ」をきこう 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 音楽に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを深く味わっているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	7	
2 学 期	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 日本や外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌唱しよう ・内容 わうわうこの道 「日本と世界」 / 「神の心を大らかに歌おう」 / 「日本語の歌詞の歌い方」 Caro mio ben / 「Caro mio ben 大解題」 Heidenreuelein(シャーペルト) 「Geliebter」/ Ich liebe dich / オー・シャンゼリゼ 展	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	1	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 表現を工夫してギターを演奏しよう ・内容 見上げてごらん夜の星を 天竺と組曲「a-i-e-u」 グザルランドにぞ 小笠原 文子	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使用などに留意して演奏し、表現に必要な技術を身に付けることができたか 演奏したり五に聞き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解することができたか 【思考・判断・表現】 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや方法を試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	8	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 「ソレ」進行をもとにメロディをつくらう ・内容 「ソレ」・「ソレ」 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	1	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう ・内容 音楽を聴く楽しささまざまな音楽 / 組曲「動物の楽園内」/ 交響曲第9番「合唱付」から第4楽章/ バレエ音楽「火の鳥」組曲 / 「西洋音楽の流」 / 「オーケストラ」をきこう 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 音楽に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを深く味わっているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	7	
3 学 期	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう ・内容 音楽を聴く楽しささまざまな音楽 / 組曲「動物の楽園内」/ 交響曲第9番「合唱付」から第4楽章/ バレエ音楽「火の鳥」組曲 / 「西洋音楽の流」 / 「オーケストラ」をきこう 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 音楽に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを深く味わっているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	7	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 「ソレ」進行をもとにメロディをつくらう ・内容 「ソレ」・「ソレ」 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	1	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 表現を工夫してギターを演奏しよう ・内容 見上げてごらん夜の星を 天竺と組曲「a-i-e-u」 グザルランドにぞ 小笠原 文子	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使用などに留意して演奏し、表現に必要な技術を身に付けることができたか 演奏したり五に聞き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解することができたか 【思考・判断・表現】 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや方法を試行錯誤しながら表現を工夫することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	8	
	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解すること 【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫すること 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組むこと	・指導事項 「ソレ」進行をもとにメロディをつくらう ・内容 「ソレ」・「ソレ」 小笠原 文子	【知識・技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わりから理解しているか 【思考・判断・表現】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創出工夫できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしているか	○	○	○	○	1	

合計
30

東京都立橘高等学校令6年度 教科：芸術 科目：書道Ⅰ 年間授業計画

教科：芸術 科目：書道 単位数：2単位

対象学年組： 第1学年A組～F組

教科担当者：

使用教科書：教育出版 書道Ⅰ

使用教材： 補足プリント、毛筆一式

教科の目標：

【知識及び技能等】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技術を身につけるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術よさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】生涯にわたり芸術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造してゆく態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能等】	【思考力・判断力・表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
中国・日本書道史を理解し、書道技能を向上する。	古典をよく見る力、古典を作品に反映させる力を養う。	練習の習慣化、自己課題を見出す力を養う。

	単元ごとの指導目標	指導項目・内容	評価の観点・方法	知識	思考	判断	配当 時数
1 学期	単元名：象形文字 【知識・技能】象形文字の書き取り 【思考】古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜び	・用具の手入れ ・象形文字、	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：楷書 【知識】：楷書の練習 【思考】：古典をよく見る。 【態度】：練習への集中・できた時の喜び	・九成宮禮泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・自書告身帖 ・北魏諸碑	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：篆刻 【知識】：篆書の読み書き 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜び	・自分の名前の篆書 ・書体字典の引き方 ・篆刻道具一式	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
2 学期	単元名：行書 【知識】：行書の練習 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜び	・蘭亭序 ・風信帖	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：隸書 【知識】：隸書の練習 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜び	・漢代八分諸碑	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
	単元名：仮名 【知識】：変体仮名の読み書き 【思考】：古典をよく見る。 【態度】練習への集中・できた時の喜び	・平安仮名諸本	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10
3 学期	単元：創作 【知識】：古典諸本の知識 【思考】：古典をよく見る。構成を考える 【態度】練習への集中・できた時の喜び	・古典諸本の復習 ・創作作品の制作	【知識】：作品の完成度 【思考】：試行の過程、発言 【態度】：試行の過程、発言	○	○	○	10